

SHARP®

MDポータブルレコーダー

取扱説明書

アイエム エム ティー
形名 **IM-MT880**

本体操作編

ソフトウェア「OpenMG Jukebox Version 2.2 for SHARP」の操作については、「ソフトウェア編」をごらんください。

NetMD



MDLP



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。



1章	お使いになる前に	
		ページ
	安全に正しくお使いいただくために	4
	おもな特長	10
	付属品について	11
	各部のなまえ	12
2章	準備	
	充電する	16
	ACアダプターで使う	18
	乾電池で使う	19
	MDを入れる	20
	録音する機器をつなぐ	22
3章	簡単な使いかた	
	長時間録音・グループ録音について ..	24
	MDに録音する	26
	グループ再生・	
	7色光サインについて	34
	MDを聞く	36

4章	いろいろな再生	
		ページ
	頭出しをする	40
	聞きたい所をさがす（早送り／早戻し）	41
	ランダム再生やリピート再生をする	42
	イントロ再生をする	44
	2倍速早聞き再生をする	45

5章	いろいろな録音	
	再生側に合わせて録音を始める （シンクロ録音）	46
	曲番をつける	48

6章	マイク録音	
	マイクから音声を拾って録音する	51
	音声を合わせて録音を始める （シンクロ録音）	54

7章	MDの編集	
	録音したMDにタイトルをつける	57
	他のMDからタイトルをスタンプする	61

MDのいろいろな編集	
1 曲を消す (トラックイレース)	63
すべての曲を消す (オールイレース)	64
曲を分ける (デバイド)	65
曲をつなぐ (コンバイン)	66
曲を移動する (ムーブ)	67
グループ録音したMDでは、さらにこんな編集ができます ...	68
いろいろなグループ編集	
曲を別のグループに移動する (グループチェンジ) ...	69
グループを先頭に移動する (グループトップムーブ)	70
グループを消す (グループイレース)	71
録音する前にグループを作成する (グループリザーブ)	72
ノングループの曲をグループの後に移動する (グループアレンジ)	73
グループ情報を消去する (グループキャンセル) ...	74

8章

便利な使いかた

誤動作防止について	75
表示内容を確認する	76
初期設定を変える	78
外部機器と接続する	80

9章

ご参考に

「故障かな?」と思ったら	82
こんな表示がでたら	84
充電池について	86
MDについて	87
MDのシステム上の制約	88
音楽著作権について	89
仕様について	90
別売品について	92
お手入れについて	92
保証とアフターサービス	93
お客様ご相談窓口のご案内	94

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本製品の取扱説明書は、次の2冊構成になっています。

- 本体操作編…本体をお使いになるための準備と、操作方法を紹介しています。お使いになる前に、必ずお読みください。
- ソフトウェア編…ソフトウェア「OpenMG Jukebox Version 2.2 for SHARP」の操作方法を紹介しています。

1章

2章

3章

4章

5章

6章

7章

8章




9章

1章 なる使 前 前に

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。

その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



この記号は、
気をつける必要があることを表しています。



この記号は、
してはいけないことを表しています。



この記号は、
しなければならないことを表しています。

⚠ 危険

充電機について

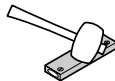
漏液・発熱・発火・破裂などを避けるため、必ず次のことを守ってください。



火の中へ入れたり、
分解・加熱しない



釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付しない



充電機に貼ってある外装カバー（被覆）をはがしたり、傷つけない



火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・放置をしない

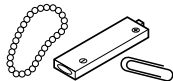
付属の充電機は、本体以外で充電したり、使用しない

⚠ 警告

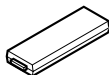
本機について



ネックレスやクリップなどの金属類と一緒に携帯・保管しない



充電池を持ち運んだり、保管するときは、付属の充電池ケースに入れてください



ショートすることがあります。

充電池の液がもれて目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください



自動車やバイク、自転車などの運転中は、ヘッドホンを絶対に使わない、MDポータブルレコーダーの操作をしない



交通事故の原因となります。

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎない

(特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。)

交通事故の原因となります。

MDの挿入口などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込まない



火災・感電の原因となります。



指定以外のACアダプターや充電スタンド、カー電源アダプターなどを使用しない

火災・事故の原因となります。



キャビネットを分解・改造しない

火災・感電・けがの原因となります。また、レーザー光が目当たると目を痛める原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。



風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・事故の原因となります。

1章

お
使
い
に
前
に

安全に正しくお使いいただくために(続き)

警告

充電機について



充電の際に所定の充電時間をこえても充電が完了しない場合には、充電をやめてください
発熱・破裂・発火の原因となります。

充電機が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください

漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

充電機の使用中や充電中、保管時に異臭を感じたり、発熱・変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、本体から取り出し、使用しないでください

故障の原因となります。

ACアダプターについて

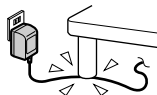


AC100V以外の電圧で使用しない



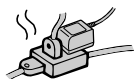
火災・感電の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりしない



破損により、火災・感電の原因となります。

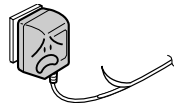
タコ足配線はしない



発熱により、火災の原因となります。



コードが傷ついたときは(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください



雷が鳴りだしたら…

安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜いてください

火災・感電・故障の原因となります。

警告

異常が起きたら



次のようなときは、ACアダプターをコンセントから抜き、充電電池などをはずしてから販売店に修理を依頼してください

- 内部に水や異物などが入ったとき
- 本機を落としたり、衝撃を与えたり、キャビネットを破損したとき(特に充電電池ボタンが破損したり、はずれた場合、フタをつけずに使用しないでください。)
- ACアダプター、充電スタンド、充電電池などが破損したとき
- 動作がおかしくなったとき
- 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき

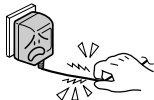
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

ACアダプターについて



コンセントから抜くときは、コードを引っばらない



コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となります。

布や布団でおおったり、つつんだりしない



熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となります。



濡れた手で抜き差ししない



感電の原因となることがあります。



コンセントへの差し込みがゆるくぐらついたり、プラグやコードが熱いときは、使用を中止する



火災・感電の原因となることがあります。

1章

お使用に
なる前に

安全に正しくお使いいただくために(続き)

⚠️ 注意

本機について



極端に寒い所や火気の近くに置かない

火災・事故の原因となることがあります。



直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内)や、暖房器具の近くに置かない
キャビネットが変形・変色し、火災・事故の原因となることがあります。

不安定な所に置かない

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

ホコリの多い所、海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しない

発火・故障の原因となることがあります。



使用中はあたたかくなりますので、直接肌に触れたままで長時間使用しない

やけどの原因となることがあります。

ズボンなどの後ろのポケットに入れて座ったり、満員電車などで製品に大きな力が加わるような所に入れない

キャビネットの変形・故障の原因となることがあります。



音量の設定に十分気をつける
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

充電機について

充電機は誤った使いかたをしますと、発熱・破裂・発火・破損・充電機の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。必ず、次のことを守ってください。



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

直射日光の強い所や炎天下の車内など、高温の場所で使用したり、放置しない

水や海水などにつけたり、濡らさない



充電機の充電温度範囲は、5℃～35℃です。この温度範囲以外で充電しないでください



充電機の液がもれて皮膚や衣服に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください
皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

乾電池について

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。必ず、次のことを守ってください。



充電したり、分解しない

金属小物(かぎ・ネックレス・コイン等)といっしょにポケットやかばんなどに入れない(乾電池入りの乾電池ケースも同様です。)ショートすることがあります。

水に濡らしたり、加熱したり、火の中へは投げ込まない



プラス(+)とマイナス(-)の向きを表示どおり正しく入れる



乾電池が使えなくなったり、長期間使わないときは、乾電池ケースから取り出してください

液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因となることがあります。

乾電池の液がもれて身体についたときは、水でよく洗い流してください

(液がもれた場合は、本機についてた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。)

お手入れのときは



安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき



安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜き、乾電池などははずしてください。火災の原因となることがあります。

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったときもしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

1章

なお
使用
前に

おもな
特長

MDのグループ録音・再生

歌手やアルバムごとに、**グループ**に分けて録音することができます。

そのMDは、**グループ**を選んで再生することができます。

また、録音済みのMDに、アルバム名などをつけることができます。



2倍・4倍長時間録音/再生

MD新規格対応により、ステレオで従来の2倍、4倍の録音ができます。

また、長時間録音されたMDの再生ができます。

7色光サイン

7色に光るLEDの点灯や点滅により、使用状況がわかります。

簡単・便利な充電スタンド

充電スタンドに置くだけで、充電することができます。

2行表示液晶リモコン

見やすく分かりやすい**2行表示**です。操作も携帯電話感覚で簡単にできます。

リフレッシュ機能搭載

充電池のメモリー効果が起こらないように、自動的に充電池を**リフレッシュ**します。(☞ P.17)

Net MD 対応

付属のCD-ROMとUSBケーブルを使ってパソコンと接続することにより、音楽データを手軽に編集して楽しめます。(☞ ソフトウェア編取扱説明書をごらんください。)

- カタログおよび包装箱に表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。
- この製品は、ドルビーラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

1 章

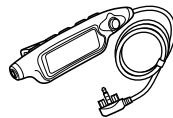
お使いに
なる前に

付属品について

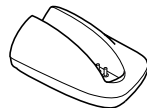
付属品がすべてそろっているか、お確かめください。



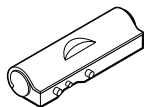
AC アダプター× 1

ヘッドホン× 1
(インピーダンス 32 Ω)

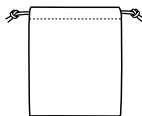
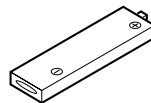
リモコン× 1



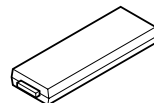
充電スタンド× 1



乾電池ケース× 1

キャリング
ケース× 1

充電電池× 1



充電電池ケース× 1



CD-ROM × 1

アプリケーションソフト
「OpenMG Jukebox ver2.2 for SHARP」USB 接続
ケーブル× 1取扱説明書 (本体操作編) × 1
取扱説明書 (ソフトウェア編) × 1
グループ録音・再生早見表 × 1
ソフトウェア使用許諾契約書 × 1
ご愛用者登録カード × 1
保証書 × 1

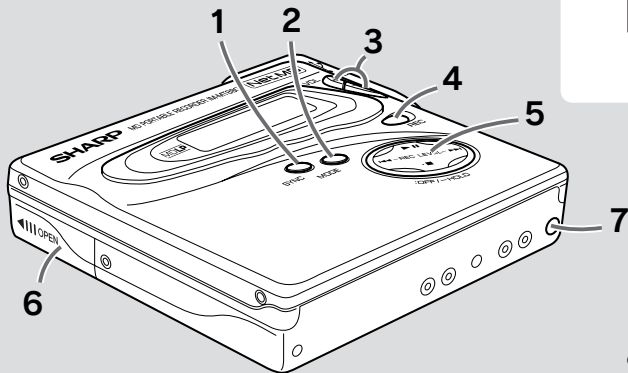
AC アダプターの形は、イラストと異なることがあります。

1 章

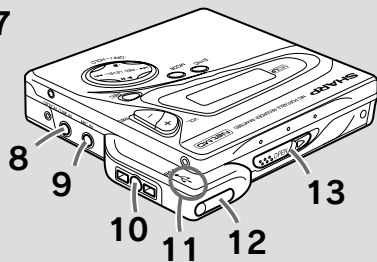
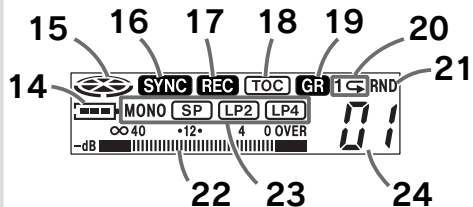
お
使
い
に
な
る
前
に

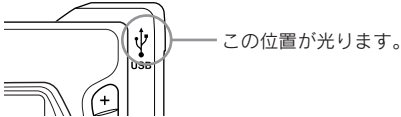
各部のなまえ

本 体



表示部



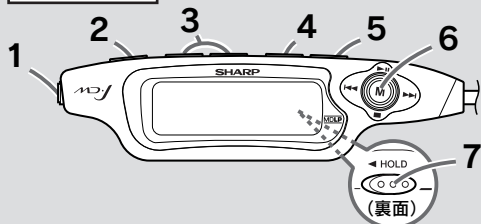
- | | |
|--|--|
| <p>1 シンクロ録音ボタン【46】</p> <p>2 モード切換ボタン【27, 42, 46】
(録音モード/再生モード)</p> <p>3 音量調整ボタン【37】</p> <p>4 録音ボタン【27, 50】(曲番追加)</p> <p>5 再生/一時停止/停止/電源切/誤動作防止/
早戻し/早送りボタン
【27, 28, 32, 37, 40, 41, 75】
(曲番選択/録音レベル調整)</p> <p>6 充電池ブタ【16】</p> <p>7 DC 2V IN 端子【18, 81】</p> <p>8 光/ライン入力端子【22】</p> <p>9 マイク入力端子【51】</p> <p>10 リモコン/ヘッドホン出力端子【26, 36】</p> <p>11 7色光サイン</p> <p>いろいろな状態を7色の光で表します。</p>  <p>12 USB 端子【ソフトウェア編：10】</p> <p>13 MD 取出しつまみ【20】</p> | <p>14 電池残量表示</p> <p>15 動作表示</p> <p>16 シンクロ録音表示</p> <p>17 録音表示</p> <p>18 TOC 表示</p> <p>19 グループ表示</p> <p>20 リピート表示</p> <p>21 ランダム表示</p> <p>22 レベルメーター</p> <p>23 録音モード表示</p> <p>24 曲番表示部</p> |
|--|--|

【 】は、おもに説明しているページを表しています。

1 章

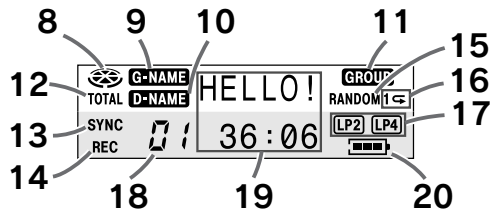
お使
前に
なる各部のなまえ
(続き)

リモコン



- 1 ヘッドホン端子【36】
 2 録音ボタン【27, 50】
 (曲番追加)
 3 音量調整ボタン【37】
 4 モード/表示切換ボタン【27, 42, 76】
 (録音モード/再生モード)
 5 グループ/クリアーボタン【25, 32】
 6 メニューボタン【27, 28, 32, 37~41, 44, 57】
 7 誤動作防止スイッチ(HOLD)【75】
ホールド

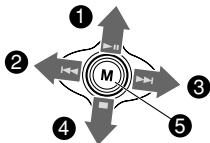
表示部



- 8 動作表示
 9 グループネーム表示
 10 ディスクネーム表示
 11 グループ表示
 12 総曲数表示
 13 シンクロ録音表示
 14 録音表示
 15 ランダム表示
 16 リpeat表示
 17 録音モード表示
 18 曲番表示部
 19 文字情報表示部
 20 電池残量表示

メニューボタンの使いかた

リモコンのメニューボタンは上下左右に動かしたり、押ししたりすることでいろいろな操作をすることができます。

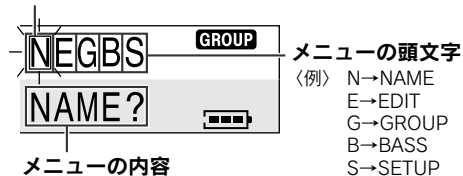


- ① 上方方向に動かすと…
再生、一時停止、文字選択 …………… ▶||
- ② 左方向に動かすと…
早戻し、曲番選択、メニュー選択、設定項目選択、
カーソル移動、録音レベル調整、文字選択 …… ◀◀
- ③ 右方向に動かすと…
早送り、曲番選択、メニュー選択、設定項目選択、
カーソル移動、録音レベル調整、文字選択 …… ▶▶
- ④ 下方方向に動かすと…
停止、電源切 …………… ◼
- ⑤ 押すと…
メニューの表示、メニューの決定、
設定項目の決定、文字の決定 …………… (M)

メニュー表示について

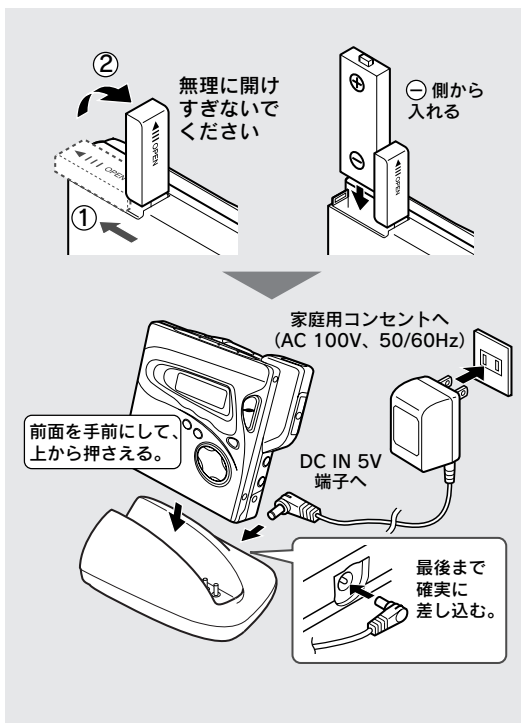
メニューモードに入ったときの表示は、1行目に各メニューの頭文字を表示し、2行目に選択されているメニューの内容が表示されます。

選択されているメニューの頭文字が点滅します。



お知らせ

メニューの頭文字は、使用状況に応じて表示内容が変わります。
(停止中、再生中、一時停止中、デジタル録音、アナログ録音、マイク録音、グループ録音したMDを入れたとき、グループ録音していないMDを入れたときなど)



お買いあげ時は、充電電池は充電されていません。
お使いになる前に、必ず充電してください。

1 充電電池を入れる。

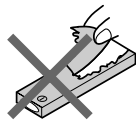
2 AC アダプターをつなぐ。

3 本体を充電スタンドに置く。

- 動作中や、停止中など本体に電源が入っているときは、充電されません。
- 充電中は操作できません。
充電中に操作すると、“CH” と表示されます。
- 充電中や充電後、充電スタンドや本体が暖かくなることがありますが、異常ではありません。




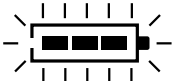
充電電池についてのご注意

- AD-N55BT以外の充電電池は、使用しないでください。
- 充電電池の外装カバー（被覆）は、はがさないでください。
発熱・発火・破裂の原因となります。
- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。



電池残量表示について

本体を充電スタンドに置くと、本体の電池残量表示で動作状態が確認できます。

表示内容	動作状態
 <p>スクロール</p>	充電中です。
 <p>消灯</p>	すでに充電が完了しています。 または、本体が充電スタンドに正しく置かれていないときや、充電端子が汚れていたり、異物がついていると、充電状態になりません。(接点を綿棒でからぶきしてください。 ( P.92)
 <p>点滅</p>	充電池をリフレッシュ(放電)しています。 充電池のメモリー効果を読み取り、必要に応じて充電池を放電します。リフレッシュ後は、自動的に充電に切り換わります。

充電時間について

約3時間すると充電が完了し、電池残量表示が消えます。

このとき、充電の約90%が完了しています。さらに約2時間そのままにしておけばフル充電されます。

- 充電は5℃～35℃の範囲で行ってください。上記以外の温度では、正常に充電状態に入らないことがあります。
- この製品は、0℃～40℃の場所でお使いください。
- 充電が完了したあと、そのまま充電状態にしても差しつかえありません。

デモモードについて

充電池が入っていない状態で本体を充電スタンドに置くと、デモモードになります。デモモードを解除するには、停止または再生ボタンを押してください。

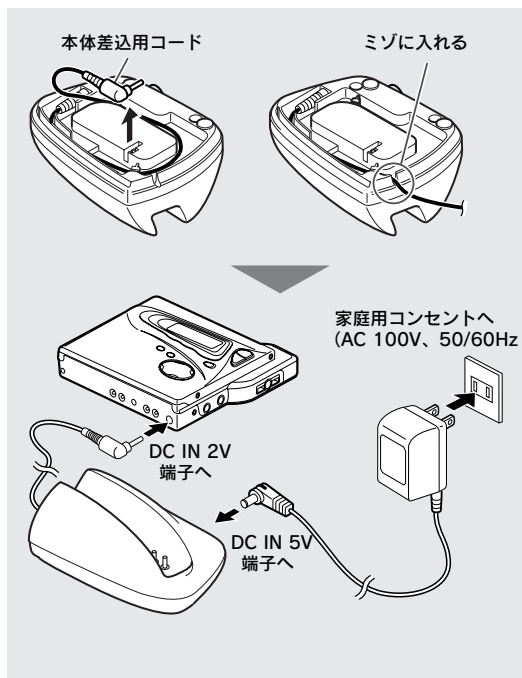
リフレッシュについて

充電池を使い切らないまま充電をくり返すと、電池持続時間が短くなります。その防止のために、充電池を自動的に放電させ、リフレッシュさせています。

2章

準備

ACアダプターで使う



- 1 本体差込用コードを取り出す。
- 2 本体差込用コードを本体（DC IN 2V 端子）につなぐ。
- 3 AC アダプターをつなぐ。

注意

- ACアダプターで長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 各プラグは最後まで確実に差し込んでください。

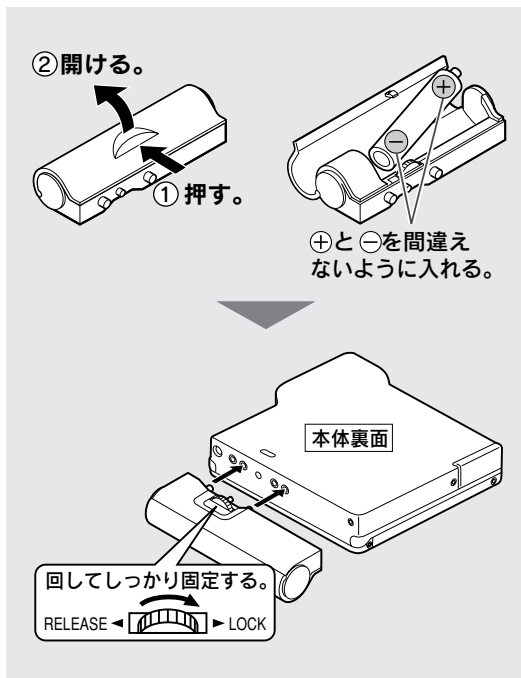
お知らせ

ACアダプターを使って再生しているときに停電になったときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
そのままにしておくと、停電復帰後、再生が自動的に始まる場合があります。

2章

準備

乾電池で使う



乾電池は、単3形アルカリ乾電池（LR6）を使用してください。

乾電池で使うときは、本体に充電電池を必ず入れておいてください。（乾電池のみで使用すると、動作状態によっては電圧が急激に下がることがあるため、録音や再生が正しくできないことがあります。）

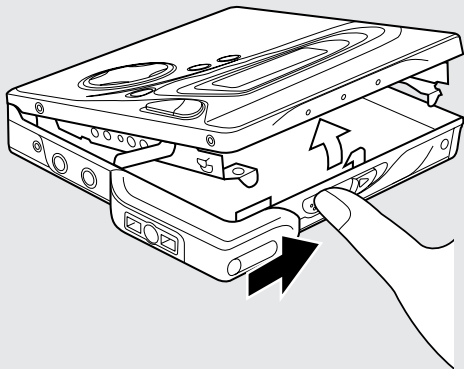
1 乾電池ケースに乾電池を入れる。

2 乾電池ケースを本体に取り付ける。

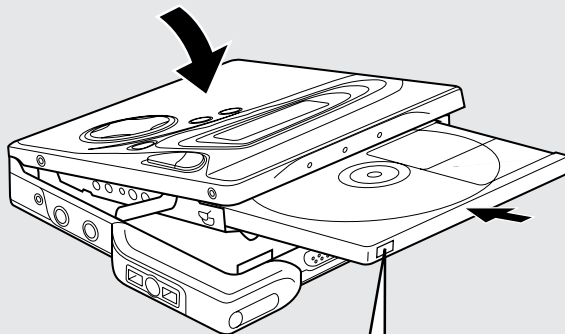
注意

乾電池ケースには、充電電池（ニカド電池等）を使用しないでください。

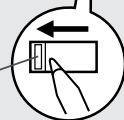
- ① MD取出しつまみを矢印の方向に動かして、ふたを開ける



- ② MDを入れて、ふたを閉める

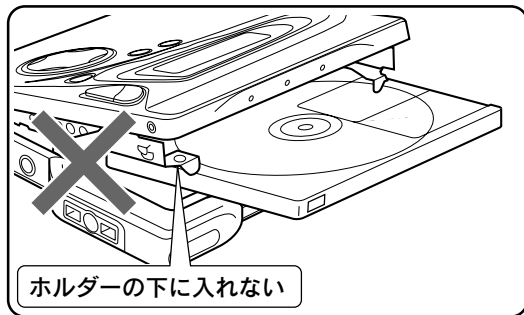


録音するときは、
誤消去防止
つまみを閉じて
おいてください



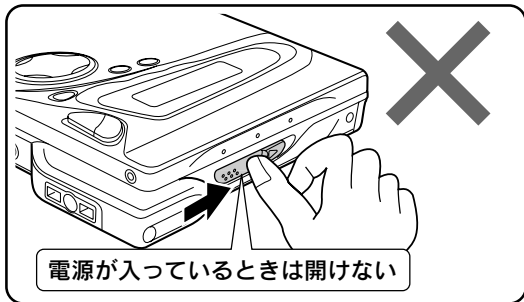
MD 挿入時・取出し時の注意

- MDを入れるときは、ふたを無理に開けたり、MDを無理に押し込まないでください。
故障の原因となります。
また、MDをホルダーの下に入れしないでください。
- MDが入りにくいときや、ふたが確実に閉まらないときは、一度MDを取り出し、再度入れ直してください。



- MDを取り出すときは、電源を切ったあとに行ってください。

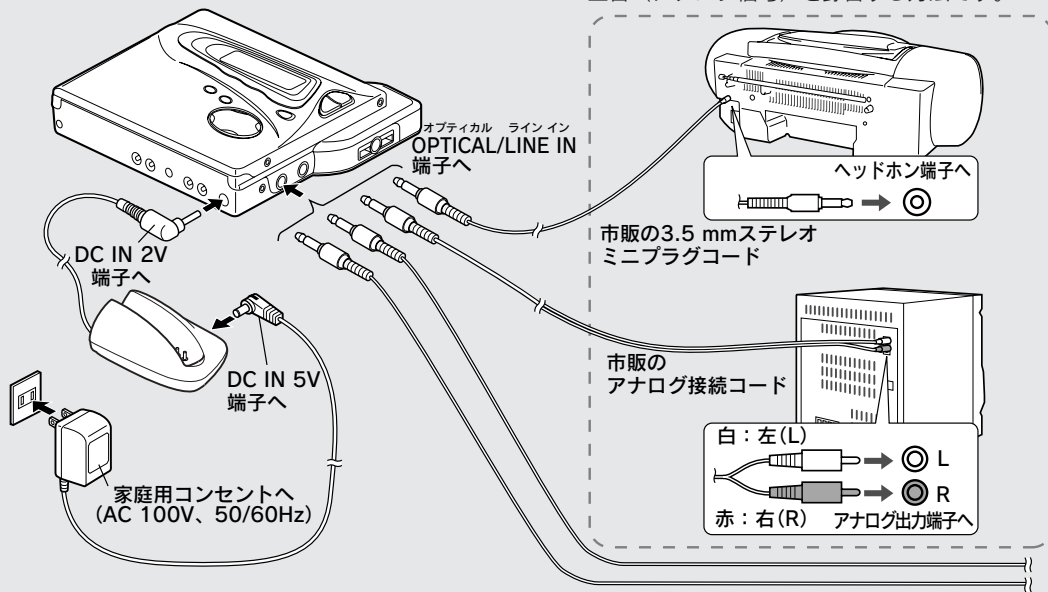
TOC (本体表示部) や トックエディット **"T-EDIT"** (リモコン表示部) を表示中は、ふたがロックされ、開けることはできません。
無理にMD取出しつまみを動かすと、故障の原因となります。



2章

準備

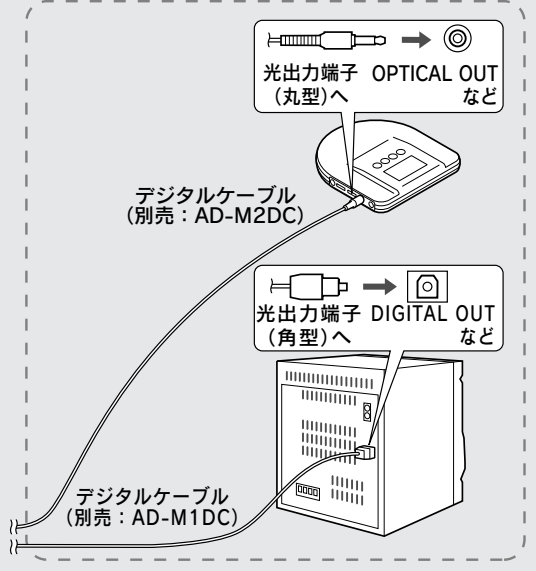
録音する機器をつなぐ
(録音する機器の端子とこの機器の端子に合わない場合は、)



光出力端子 (丸形または角形) の機器につなぐとき

CDやMDのデジタル信号を、デジタルのまま録音する方法です。

アナログに比べて、高音質での録音ができます。



- プラグは、最後まで確実に差し込んでください。
- ステレオやCDプレーヤーなどから録音するときは、マイク IN MIC IN 端子には何も接続しないでください。
- ラジカセなどのヘッドホン端子につないで録音する場合は、その機器の音量を大きくしないと録音レベルが大きくなることがあります。
- 本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、CS/BSチューナーやDATデッキなどサンプリング周波数の違う (32kHz、48kHz) デジタル機器に接続しても、自動的に 44.1kHz (本機の周波数) に変換してデジタル録音できます。
- この製品のデジタル入力には、オーディオ用 (デジタルオーディオインターフェースに適合した機器) をお使いください。

パソコンとつないで MD に録音する

付属の CD-ROM と USB 接続ケーブルを使うことによって、パソコンに保存した曲を MD に録音することができます。

- 接続可能なパソコンの仕様は、あらかじめカタログなどでご確認ください。
- パソコンで操作中は、本体表示部に "PC" と表示され、本体では操作できません。
- 接続や操作方法などくわしくは、取扱説明書ソフトウェア編をごらんください。

3章

使
簡
い
單
方
な

長時間録音・グループ録音について

■ 長時間録音について

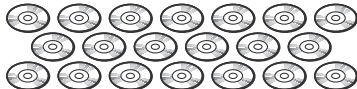
このMD ポータブルレコーダーは、4倍の長時間録音ができるので、1枚のMDにたくさんの曲を録音することができます。(MDLP 対応)



アルバム 4 枚など

1枚のMDに最大320分
(80分ディスク使用時)
の録音可能

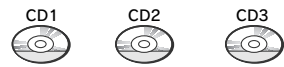
シングル数十枚など



長時間録音についてくわしくは30ページをごらんください。

■ グループ録音について

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音することができます。そのMDは、グループを選んで再生することができます。



グループ1

1 2 3 4
A曲 B曲 C曲 D曲

CD1の曲

グループ2

1 2 3 4
E曲 F曲 G曲 H曲

CD2の曲

グループ3

1 2 3 4
I曲 J曲 K曲 L曲

CD3の曲



グループモードを設定して録音すると

グループ1				グループ2				グループ3			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲

グループごとに曲番が1から始まります。

グループモードを解除して録音すると



ディスク名											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲

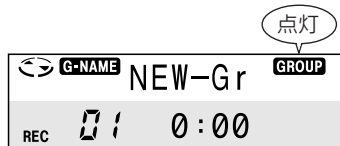
連続した曲番になります。

試し録音について


- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に、万が一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

グループモードを設定する

- 1  を2秒以上押す。
録音の一時停止状態になります。
- 2  を1秒以上押して、“GROUP”を点灯させる。



グループモードを解除する

- 1  を1秒以上押して、“GROUP”を消灯させます。

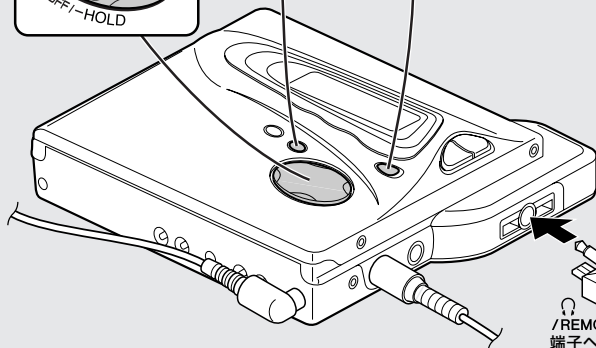
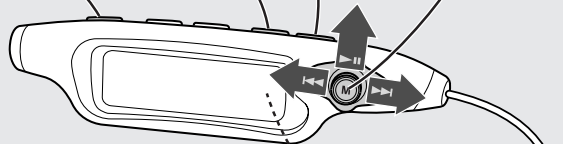
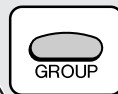
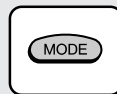
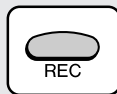
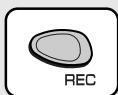
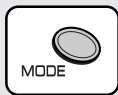
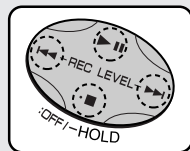
注意

グループ録音したMDを他の機器で録音または編集すると正しく動作しないことがあります。

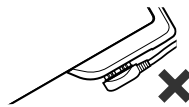
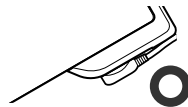
3章

使
簡
い
單
方
なM
D
に
録
音
す
る

録音を始める前に…
ホールドが解除されているか
確認する。(P.75)



リモコンのプラグは、最後まで確実に
差し込んでください。





1 リモコンをつなぐ。

2 MDを入れる。(☞ P.20)

3 録音する機器をつなぐ。(☞ P.22、P.23)


4  を2秒以上押す。

- 録音の一時停止状態になります。
- 本体の  は押すだけで、録音の一時停止状態になります。






5 グループ録音するとき
は、 を1秒以上押

して、“**GROUP**”を点灯
させる。
新しいグループになります。
(グループを選ぶには
☞ P.32)


NEW-Gr **GROUP**


- グループ録音しないときは、 を1秒以上押して“**GROUP**”を消灯させてください。
- グループ録音の設定は次に変更するまで変わりません。




6 接続した機器を再生する。

7  を  または  方向に動かして、
録音レベルを調整する。(☞ P.29)
本体の  または  を押しても操作できます。

8 接続した機器を再生の一時停止状態にする。
(録音したい曲の頭出しをしておく。)

9  をくり返し押して、録音モードを選ぶ。
(☞ P.30)

SP (ステレオ録音) ⇄ LP2 (2倍長時間録音)
↑ ↓
MONO (モノラル録音) ⇄ LP4 (4倍長時間録音)
本体の  を押しても操作できます。

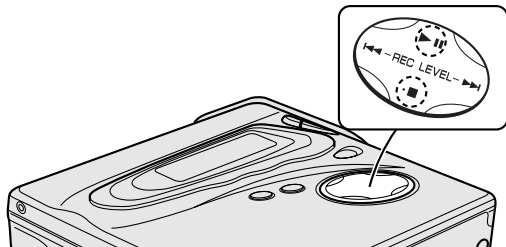
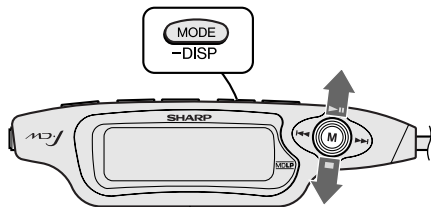
10  を  方向に動かす。
本体の  を押しても操作できます。

11 接続した機器を再生して、録音を始める。

3章

使い
簡単
方な

MDに録音する(続き)



一時停止する

録音中に、**(M)** を **▶II** 方向に動かす。
このとき、曲番が1つ増えます。

- もう一度、**(M)** を **▶II** 方向に動かすと、録音が始まります。
- 本体の **(▶II)** を押しても操作できます。

停止する

録音中に、**(M)** を **■** 方向に動かす。

- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。
- 本体の **(■)** を押しても操作できます。

録音の残り時間を確かめる

録音中または、録音の一時停止中に、

(MODE -DISP) を1秒以上押す。

- もう一度、**(MODE -DISP)** を1秒以上押すと、元の表示に戻ります。

電源を切る

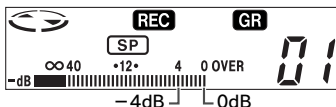
停止中に、**(M)** を **■** 方向に動かす。

- TOC情報を記録 (P.33) したあと、電源が切れます。
- 本体の **(■)** を押しても操作できます。

録音レベルについて

■ アナログ録音やマイク録音のとき

本体表示部で確認できます。



- 最も大きなレベルのとき、-4dBから0dBの間に振れるように調整します。

■ デジタル録音のとき

リモコン表示部で確認できます。



- -12dBから+12dBの範囲で、1dBごとの調整ができます。
- CDから録音するときは、通常は“DL 0”に、CSチューナーなどから録音するときは、“DL + 8”を目安に設定します。
- 録音レベルを一度調整すると、設定内容は録音を停止しても記憶されます。
(初期設定を変える P.78)

お知らせ

- 録音するときは、ACアダプターでを使用することをおすすめします。このとき、充電済みの電池を入れておいてください。万一停電になっても、電源は自動的に充電電池に切り換わります。
- 録音中に音量を調整しても、録音には影響ありません。
- 録音中には低音の調整はできません。
- グループ数が99を超えると“G-FULL”と表示され、グループ録音できません。
ただし、グループ数が98以下でも“T-FULL”と表示され、グループ録音できないことがあります。
- “?Gr Form”と表示されたときは「こんな表示が出たときは」をごらんのうち、操作をやり直してください。(P.85)

3章

使い
簡単
方な

MDに録音する(続き)


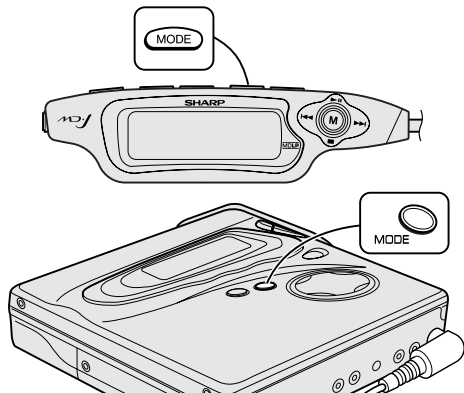
長時間録音をする

2倍・4倍長時間録音

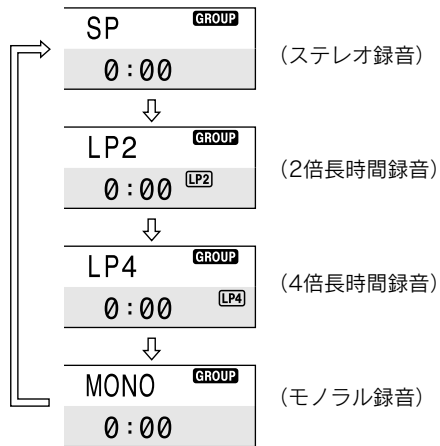
ステレオ録音で2倍または、4倍の長時間録音ができます。

モノラル録音

モノラルでステレオ録音 (SP) の約2倍の時間、録音できます。

モノラルモードで録音すると、通常再生の2倍の早さで聞くことができます。(2倍速早聞き再生  P.45)1 録音の一時停止中に、**MODE** をくり返し押して、録音モードを選ぶ。

押すたびに切り換わります。



2 録音を開始する。

録音モードは、次に変更するまで変わりません。

録音モードについて

録音する際の録音モードをステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音、モノラル録音から選ぶことができます。

録音モードにより録音可能時間が異なります。

80分のMDに録音する場合は、以下のようになります。

表示	録音モード	録音時間
SP	ステレオ録音	最大 80 分
LP2	2倍長時間録音 (ステレオ)	最大 160 分
LP4	4倍長時間録音 (ステレオ)	最大 320 分
MONO	モノラル録音	最大 160 分

お知らせ

- 1枚のMDにステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音を混ぜて録音することができます。
- モノラル録音では入力がステレオでも、右チャンネルと左チャンネルの音がミックスされて録音されます。また、録音中、ヘッドホンから聞こえる音はステレオですが、録音されている音はモノラルです。
- 2倍・4倍長時間録音をした曲は、2倍・4倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。対応していない機器で再生すると、無音状態となります。(機器によっては、動作・表示の異なる場合があります。)
- モノラル録音した曲は、モノラル再生に対応していない機器では再生できません。

4倍長時間録音 (LP4) についてのご注意

4倍長時間録音 (LP4) は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。

音質を重視する録音を行うときは、ステレオ録音 (SP) または2倍長時間録音 (LP2) をおすすめします。

ATRAC (音声圧縮技術) について

アトラック
ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding) は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約 1/5 に圧縮します。








聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。

この機器では音楽データを約 1/10 または 1/20 に圧縮する、アトラックATRAC3 という圧縮方式も採用しています。この方式を用いることにより、ステレオで2倍・4倍の長時間録音を可能としています。





3章

使
簡
い
単
方
なM
D
に
録
音
す
る
(
続
き
)

グループを選んで録音するには




- 1  を2秒以上押す。
録音の一時停止状態になります。
- 2  を1秒以上押して“GROUP”を点灯させる。
- 3  を押す。
メニュー選択モードになります。
- 4  を  または  方向に動かして、“G
グループ セレクト
(GrSELECT)”を選んで  を押す。



- 5  を  または  方向に動かして、追加録音したいグループを選んで  を押す。

NEWGr	新しいグループにするとき
Gr01	すでにあるグループに追加するとき (グループ名が記録されていると、 “Gr01” などのかわりに、グループ名 が表示されます。)
Gr02	
Gr03	
:	
NonGr	グループにしないとき

- 6 録音を開始する。

- メニュー選択中は、25秒以内に操作を行ってください。
- 操作中に、 を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。

トック TOC (Table of Contents) について

TOCとは、曲番や録音場所など、曲を認識するための目次情報です。

再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。

録音や編集(P.57) をすると、本体表示部に **TOC** が表示されます。

TOCの表示について

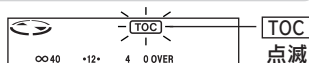
< 本体表示部 >



録音や編集をすると、本体表示部に **TOC** が表示されます。これは、TOCの情報が変更されたことを表しています。この時点では、まだMDには記録されていません。

TOCはいつ記録される？

< 本体表示部 >



TOCは停止中に **M** (リモコン) を **■** 方向に動かすか、または、**■** (本体) を押すと、自動的に記録され、電源が切れます。

記録中は、本体表示部の **TOC** が点減します。

本体表示部に **TOC** (TOCの内容が変更中)やリモコン表示部に **トック** **エディット** (新しいTOCの内容を書き込み中)が表示されているときは、次のことに注意してください。TOCが正しく記録されずに、録音や編集した内容が消えます。

- ・本体に衝撃を与えない。
- ・ACアダプターや本体差込用コードを抜かない。
- ・充電電池や乾電池を抜かない。

お
知
ら
せ

ACアダプターのみを使用して録音 (TOC情報が書き込まれていない状態) しているときに停電があると、そのときの録音内容は消えてしまいます。

充電された充電電池が入っていると、停電しても充電電池に自動的に切り換わり、録音を完了することができます。

- 本体表示部に **TOC** が表示されているときは、MDは取り出せません。電源を切ってから、取り出してください。
- TOCの書き込みは、いくつかの編集作業のあと、最後にまとめて行ってもかまいません。

3章

簡単な
再生

7グループ再生について
色光サインについて

■ グループ再生について

グループ録音されたMDを使用すると、設定されたアルバムごとやアーティストごとなど、好みのグループ別に再生することができます。

グループ録音されたMDの再生動作について

グループ録音例：

このようにグループ分けしたMDの場合

グループ1				ノングループ			グループ2				ノングループ				
1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	5
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲

グループにしなかった曲は、「ノングループ」になります。
(「Non-Gr」と表示)

グループ録音したMDを聞くときは、グループモードの設定によって、次のように変わります。

グループモードに設定したとき

(“GROUP” が点灯)

グループごとに曲番が1から始まります。
グループを選んで再生することができます。

グループ1				グループ2				ノングループ															
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	E曲	F曲	G曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲								

→ ノングループの曲は最後に再生します。

グループモードを解除したとき

(“GROUP” が消灯)

連続した曲番になります。

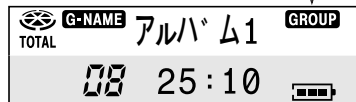
ディスク名																							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16								
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲								

→

グループモードを設定する


グループ録音したMDを入れると、自動的にグループモードになります。

(最初のグループを表示します。)

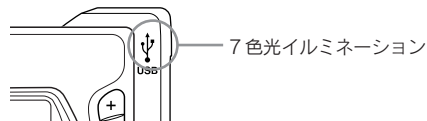


MDを取り出すと、グループモードは解除されます。

グループモードを解除する

停止中に、 を1秒以上押して、“GROUP”を消灯させます。

7色光サインについて



緑 (1回点滅)	ステレオ再生またはモノラル再生
青 (2回点滅)	2倍長時間再生 (ステレオ)
赤 (4回点滅)	4倍長時間再生 (ステレオ)
7色がゆっくり変化後、緑/青/赤	チェックアウト時
7色が速くランダムに変化後、緑/青/赤	チェックイン時 TOC書き込み時

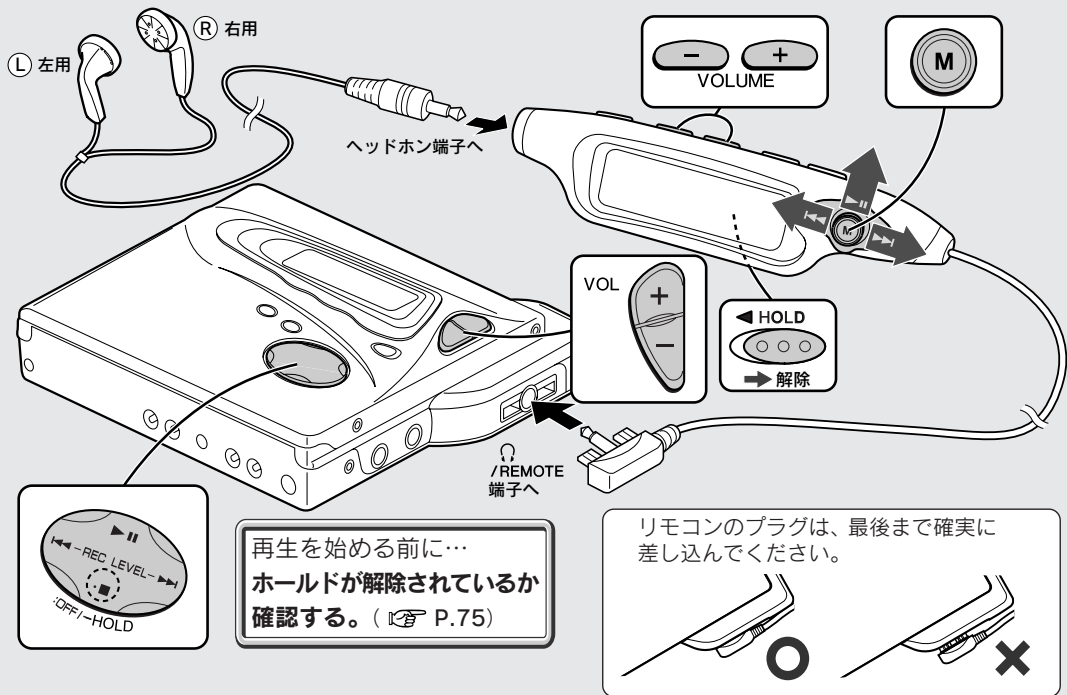
お知らせ

グループ録音したMDを、グループ機能に対応していない機器で再生すると、ディスク名が正しく表示されません。

また、グループ名は表示されません。

(例) 0;BEST//1-10;…




3章

使
簡
い
単
方
なM
D
を
聞
く

1 本体にリモコンとヘッドホンをつなぐ。**2 MDを入れる。** (P.20)

グループ録音されたMDを入れると、自動的にグループモードになります。



3  を  方向に動かして、再生を始める。

- 再生専用 MD や誤消去防止状態にした MD を入れたときは、 を  方向に動かさなくても、再生が自動的に始まります。(オートプレイ P.78)
- 本体の  を押しても操作できます。






最後の曲の再生が終わると、自動的に停止します。

- 各ボタンを操作すると、リモコンのバックライトが約 10 秒間つきます。(P.78)
- 異なる録音モードの曲が録音されていても、自動的に録音されたときの録音モード (P.30) で再生されます。

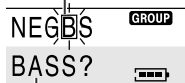
音量を調整する

-  または  を押して、音量を調整します。
● “0” から “30” の範囲で調整できます。

低音を調整する

-  を押す。
メニュー選択モードになります。
-  を  または  方向に動かして、“B(BASS)” を選んで  を押す。




(再生中は“B”のみ表示します。)
メニューの頭文字



メニューの内容

-  を  または  方向に動かして、低音の強さを選んで  を押す。

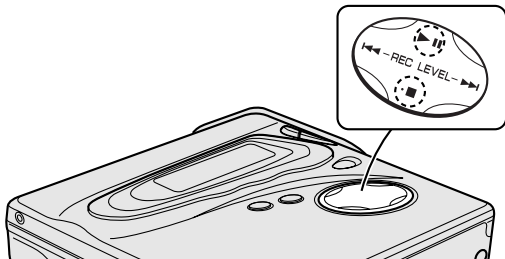
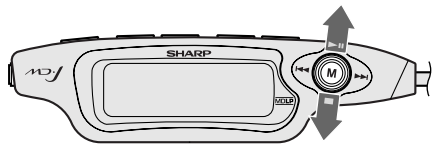
O(OFF)	1(BASS1)	2(BASS2)	3(BASS3)
強調解除	少し強調	より強調	さらに強調

- メニューの選択は、25 秒以内に行ってください。
- 操作中に、 を押すと 1 つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには  を  方向に動かしてください。

3章

使い
簡単
方な

MDを聞く(続き)



一時停止する

再生中に、**(M)** を **▶||** 方向に動かす。

- もう一度、**(M)** を **▶||** 方向に動かすと、再生が始まります。
- 一時停止後、そのままにしておくと、約5分後に停止状態になります。その後約30秒後に電源が自動的に切れます。
- 本体の **(M)** を押しても操作できます。

停止する

再生中に、**(M)** を **■** 方向に動かす。

- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。
- 本体の **(M)** を押しても操作できます。

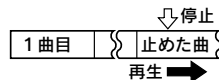
電源を切る

停止中に、**(M)** を **■** 方向に動かす。

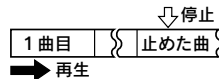
本体の **(M)** を押しても操作できます。

リジューム機能について

再生を停止したあと、MDを取り出さずに再び再生すると、止めた位置から再生が始まります。

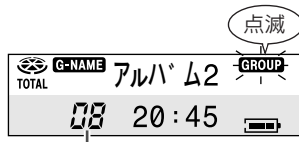


ただし、MDを取り出すと、1曲目から再生が始まります。






聞きたいグループをさがすには

- 1  を押して、“GROUP” を点滅させる。



グループモードにしたときの曲番は、グループ内の曲番が表示されます。

- 2 5秒以内に、 を  または  方向に動かして、聞きたいグループを選ぶ。

停止中に操作したときは  を  方向に動かして再生を始めてください。

音のひずみについて

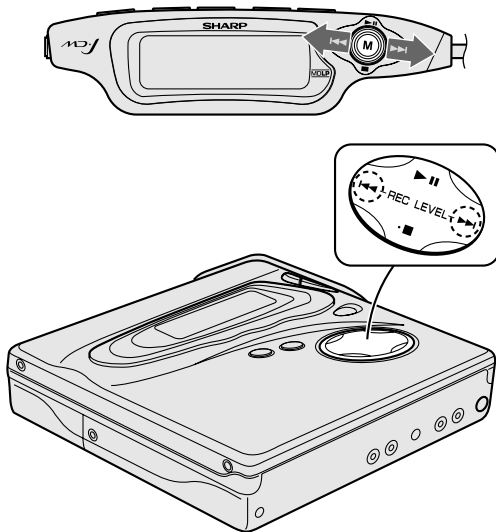
低音を強調しているときに音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときは、低音の強調レベルを下げるか、音量を下げてください。音量レベルを“23”以上に設定しているときは、音のひずみを少なくするために、低音の強調レベルが自動的に調整されます。

音とびについて

この製品は振動に対して、音とびにくくなっていますが、ジョギングなど連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

音のエチケット

ヘッドホンからもれる「シャカシャカ」という音は、周囲の人にとって気になるものです。特に電車やバスの中などの密集した場所では音量を下げ、他人の迷惑にならないように注意しましょう。



再生中に頭出しをするには

今聞いている曲の頭から再生するとき

一回動かす。



次の曲の頭から再生するとき

一回動かす。

停止中に曲番を選ぶには

前の曲番を選ぶとき





一回動かす。



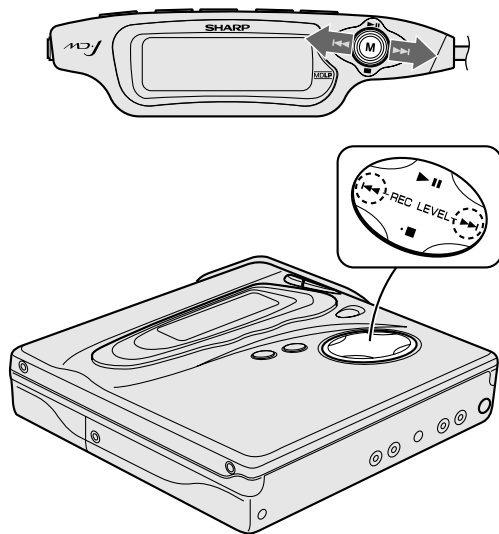
次の曲番を選ぶとき

一回動かす。

動かしたままにすると、曲番が連続して変わります。

- 停止中に聞きたい曲番を表示させたあと  を  方向に動かすと、その曲の頭から再生が始まります。
- 本体の  または  を押しても操作できます。

4 章

いろいろな
再生聞きたい所をさがす
(早送り／早戻し)

再生中に早送り／早戻しするには

早戻しするには

早送りするには

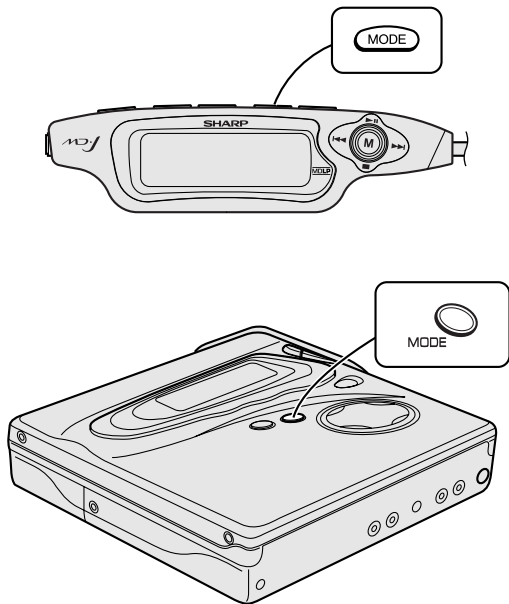
動かし続ける。◀◀ (M) ▶▶ 動かし続ける。

- 指を離すと再生に戻ります。
- MDの最後の曲の終わりまで行くと、一時停止状態になります。
- MDの最初の曲の頭まで行くと、再生状態になります。

本体の ⏮ または ⏭ を押し続けても操作できます。

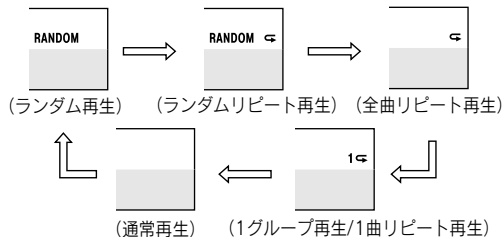
一時停止中に、早送り・早戻しの操作をすると、再生中の操作よりも早くさがせます。

- このとき、音は出ませんので、表示時間を目安にしてください。
- 指を離すと、その位置で一時停止状態になります。



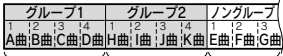
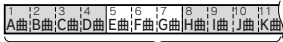

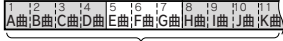
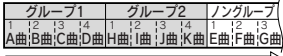
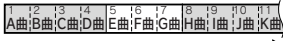

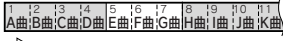
再生モードを変えるには

再生中に、**MODE** をくり返し押す。

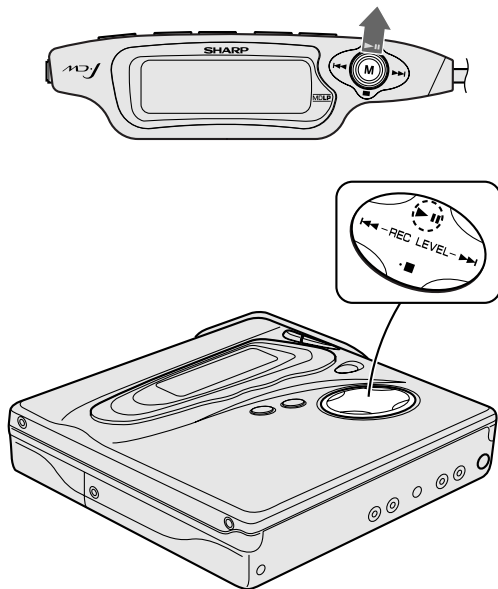


- 停止中に操作したときは、再生モードを選んだあと、再生を始めてください。
- 本体表示部に **TOC** 表示がでているときは、再生モードの変更はできません。
このとき、再生モードの変更をしようとすると、リモコン表示部に“**TOC!**”と表示されます。

- それぞれのリピート再生は、再生を止めるまで続きます。切り忘れに注意してください。
- ランダム再生・ランダムリピート再生・1曲リピート再生中は、聞いている曲をこえて早送り・早戻しはできません。
- ランダム再生・ランダムリピート再生のときは、聞いている曲以前への頭出しはできません。

リモコン表示	グループモードに設定したとき (“GROUP”点灯時)	グループモードを解除したとき (“GROUP”消灯時)
RANDOM (ランダム再生)	グループ内で順不同に再生し、全曲再生後自動的に停止します。  <p>順不同に再生→順不同に再生→順不同に再生</p>	全曲を順不同に再生したあと、自動的に停止します。  <p>順不同に再生</p>
RANDOM ⇐ (ランダムリピート再生)	グループ内で順不同に再生し、全グループを順にくり返します。  <p>順不同に再生→順不同に再生→順不同に再生 ↑----- 停止するまでくり返す -----↓</p>	全曲を順不同に再生し、全曲をくり返します。  <p>順不同に再生 ↑----- 停止するまでくり返す -----↓</p>
⇐ (全曲リピート再生)	全曲をくり返し再生します。  <p>↑----- 停止するまでくり返す -----↓</p>	全曲をくり返し再生します。  <p>↑----- 停止するまでくり返す -----↓</p>
1⇐ (1グループリピート再生/ 1曲リピート再生)	選んだグループをくり返し再生します。  <p>↑----- 停止するまでくり返す -----↓</p>	1曲をくり返し再生します。  <p>↑----- 停止するまでくり返す -----↓</p>

各曲を順に、約5秒ずつ聞くことができます。



停止中または一時停止に、

(M) を **▶▶** 方向に2秒以上動かす。

intro5

- 再生モードが、ランダム再生・ランダムリピート再生・1曲リピート再生に設定されているときは、イントロ再生はできません。このときは、通常の再生を始めます。
- 一時停止中に操作したときは、次の曲からイントロ再生を始めます。
- 本体の を2秒以上押しても操作できます。

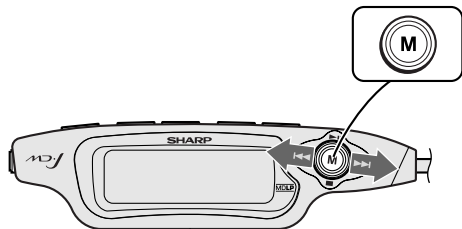
通常の再生に戻すには

(M) を **▶▶** 方向に動かす。

4章 再生 いろいろな

2倍速早聞き再生をする

モノラルモードで録音されたMDなら、2倍速で聞くことができます。(モノラル録音 P.30)



1 再生中に、**M** を押す。

メニュー選択モードになります。

2 **M** を **←** または **→** メニューの頭文字

方向に動かして、“F

ファースト
(FAST)”を選んで **M**

を押す。

GROUP

BE

FAST?

メニューの内容

3 **M** を **←** または **→** ファースト メニューの頭文字
方向に動かして、“F(FAST)”
を選んで **M** を押す。

- 早聞き再生中に、ステレオモードで録音された曲番になったときは、早聞き再生が解除されます。
- 録音内容によっては、聞き取りにくいことがあります。



- メニューの選択は、25秒以内に行ってください。
- 操作中に、**CLEAR** を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、**M** を **↓** 方向に動かしてください。

早聞き再生を一時停止する

再生中に、**M** を **▶** 方向に動かす。

もう一度 **M** を **▶** 方向に動かすと、早聞き再生します。

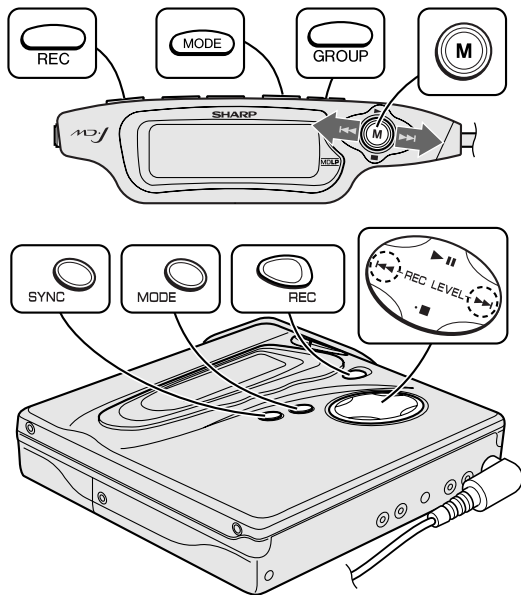
通常の再生に戻る

操作3で“N(ノーマルNORMAL)”を選んで **M** を押す。

5章 いろいろな録音

再生側に合わせて録音を始める (シンク口録音)

接続した機器の音を検知して、自動的に録音を開始したり、一時停止します。




- 1** **REC** を2秒以上押す。

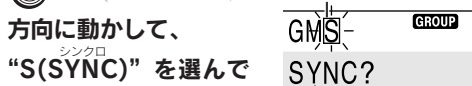
 - 録音の一時停止状態になります。
 - 本体の **REC** は押すだけで、録音の一時停止状態になります。
- 2** グループ録音するときは、**GROUP** を1秒以上押し、**GROUP** を点灯させる。

グループ録音しないときは、**GROUP** を1秒以上押し、**GROUP** を消灯させてください。
- 3** 接続した機器を再生する。
- 4** **M** を **◀** または **▶** 方向に動かして、録音レベルを調整する。(P.29)

本体の **◀** または **▶** を押しても操作できます。
- 5** 接続した機器を再生の一時停止状態にする。(録音したい曲の頭出しをしておく。)
- 6** **MODE** をくり返し押して、録音モードを選ぶ。(P.30)

7  を押す。

- メニュー選択モードになります。
- 本体の  を押しても、操作できます。
(そのときは、操作8~9を行う必要はありません。)

8  を  または  方向に動かして、

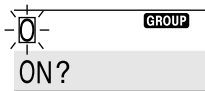
“S(SYNC)”を選んで

 を押す。

メニューの内容

9  を押す。


シンク口録音の一時停止状態になります。

**10** 接続した機器を再生する。

シンク口録音が始まります。

一時停止について

接続した機器を停止すると一時停止になります。再び再生すると、続けて録音できます。

- オーディオ機器からの無音状態が3秒以上続くと自動的に一時停止になります。
(録音開始後、約10秒間は一時停止しません。)再び音声が入ると、曲番が1つ増え自動的に録音が始まります。
- オーディオ機器からの再生信号によっては、正確な位置で録音開始や一時停止しないことがあります。このようなときは、手動による録音を行ってください。
( P.27)

停止する

 を  方向に動かす。

本体の  を押しても操作できます。

接続する機器の設定について

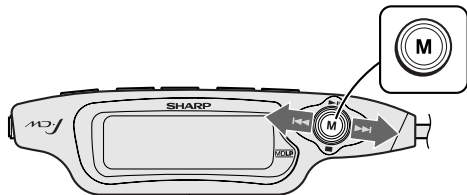
ポータブルCDやMDプレーヤーの中には、充電電池や乾電池で使うと光出力が出ないものがあります。その場合、これらのプレーヤーからは、デジタル録音できません。そのときは、AC電源を使用してください。また、音とびを防ぐ機能がついている機器では、そのスイッチを“切”にしておいてください。

5章

録音
いろいろな

曲番をつける

無音に合わせ曲番をつけるとき(アナログ録音のとき)



1 録音の一時停止中または録音中に、**M** を押す。
メニュー選択モードになります。

2 **M** を **◀** または **▶** 方向に動かして、
“M(MARK)” を選んで
M を押す。

メニューの頭文字

GMS	GROUP
-----	-------

MARK?

メニューの内容

3 **M** を **◀** または **▶** 方向に動かして、
“A(AUTO)” を選んで
M を押す。

メニューの頭文字

A0	GROUP
----	-------

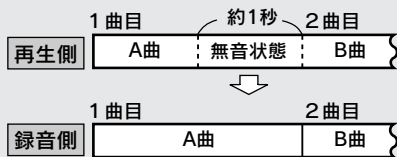
AUTO?

メニューの内容

- メニューの選択は、25秒以内に行ってください。
- 操作中に、**CLEAR** を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、**M** を **■** 方向に動かしてください。

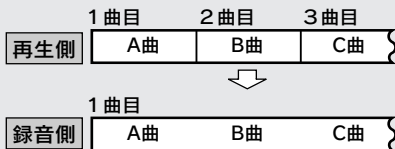
[オートマーク "A (AUTO)"]

1秒以上の無音があると、自動的に曲番がつきます。



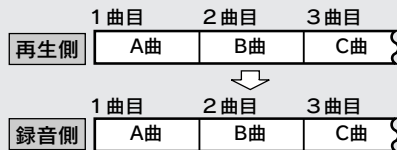
[マークオフ "O (OFF)"]

ひと続きの曲として録音します。



無音に合わせ曲番をつけるとき(デジタル録音のとき)

CDやMDから録音するときは、CDやMDについている曲番と同じ所に、曲番がつきます。



下記のような場合、正しい位置に曲番がつかないことがあります。

- ・ 信号に雑音があるとき
- ・ 録音時に、再生側をプログラム再生、または手動で選曲しながら再生したとき
- ・ CS・BS放送の番組をデジタル入力で録音したとき

なお、CDの再生機器の種類によっては、デジタル入力でも曲番がつかないことがあります。

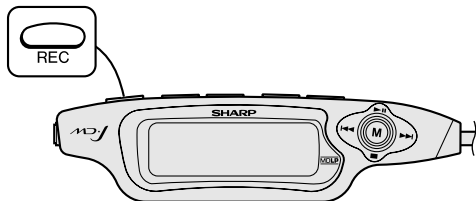
5章

録音
いろいろな

曲番をつける(続き)

好きな位置に曲番をつける

録音中に、手動で曲番をつけることができます。



録音中に、曲番をつけたい所で  を押す。

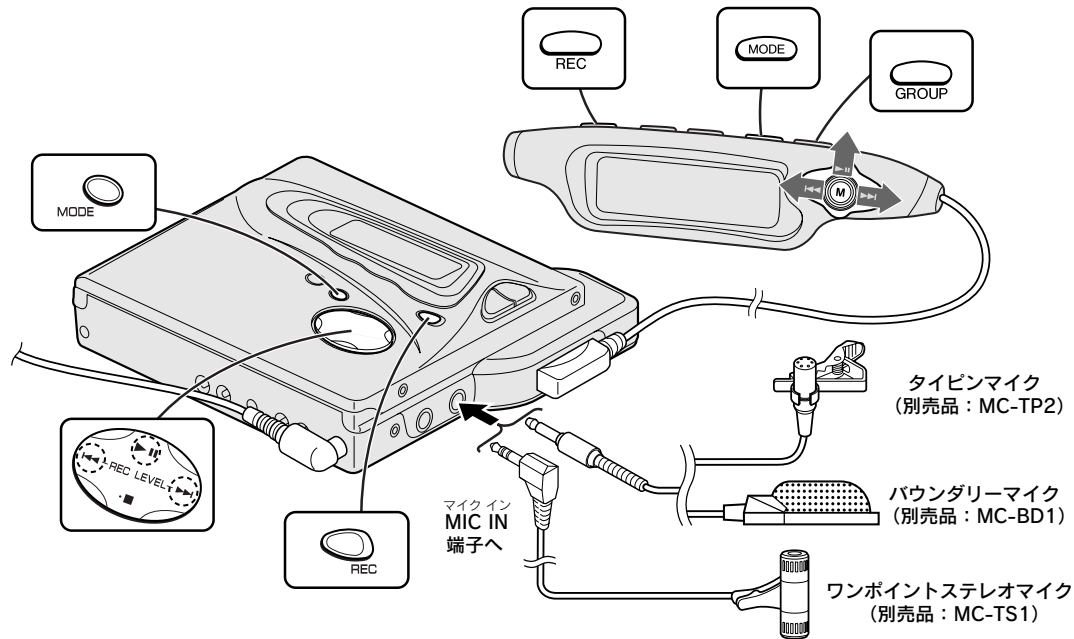
- 曲番が1つ増えます。

曲番の制限

一定の時間内に10回以上曲番をつけようとする^{ソニー}とすると、“Sorry”が表示され、操作を受け付けなくなります。そのときは、しばらく待ってから操作してください。

ステレオ録音のとき	40秒以内
2倍長時間録音のとき	80秒以内
4倍長時間録音のとき	160秒以内
モノラル録音のとき	80秒以内

6 章

マイク
録音マイクから音声
録音をする

6章


録音
マイク


マイクから音声を拾って録音をする(続き)


1 MDを入れる。(☞ P.20)




2 マイクをつなぐ。(☞ P.51)



3  を2秒以上押す。


- 録音の一時停止状態になります。
- 本体の  は押すだけで、録音の一時停止状態になります。

4 グループ録音するときは、 を1秒以上押し、**“GROUP”** を点灯させる。

グループ録音しないときは、 を1秒以上押し、**“GROUP”** を消灯させてください。

5  を  または  方向に動かして、録音レベルを調整する。(☞ P.29)

本体の  または  を押しても操作できます。


6  をくり返し押して、録音モードを選ぶ。(☞ P.30)

7  を  方向に動かす。

本体の  を押しても操作できます。


一時停止する

 を  方向に動かす。


- もう一度動かすと、録音が始まります。このとき、曲番が1つ増えます。
- 本体の  を押しても操作できます。

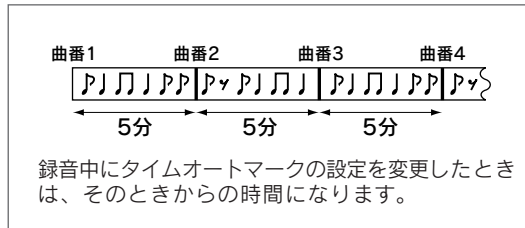
停止する

 を  方向に動かす。


- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。
- 本体の  を押しても操作できます。


曲番について

マイクから録音するときは、一定間隔で曲番がつくようになっていきます。(お買いあげ時は、約5分間隔)
(タイムオートマーク  P.56)



曲番のつく間隔は変えることができます。

(マークなし / 10分 / 5分 / 3分  P.56)

タイムオートマークの間隔に加えて、録音中に  を押すと、好きな位置で曲番をつけることもできます。

接続するマイクについて

- マイクは、必ずプラグインパワー方式に対応したものを
ご使用ください。
プラグインパワー方式に対応したものであれば、市販のステレオマイクも使用できます。
- プラグインパワー方式に対応していないマイクを接続すると、正しく動作しなかったり、故障の原因となります。

プラグインパワー方式に対応したマイクとは

マイクには、動作用の電源を必要とするものと、必要としないものがあります。電源を必要とするマイクの中には、電池を内蔵するものと、本体から電源が供給されるものがあります。本体から電源が供給されることによって動作するマイクを、プラグインパワー方式対応のマイクと言います。

接続時のご注意

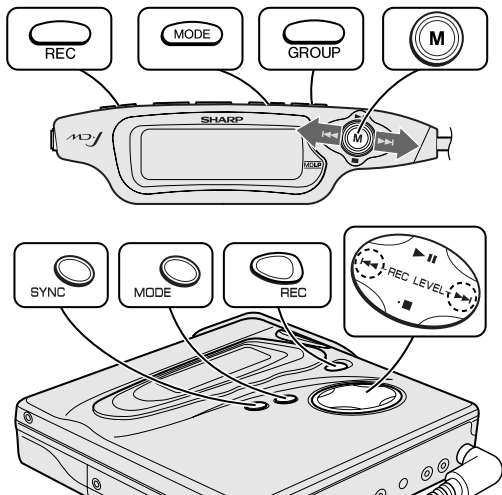
- 各プラグは最後まで確実に差し込んでください。
接触不良などにより、正しく録音できないことがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。汚れていると、雑音ができることがあります。
- マイクから録音するときは、^{オプティカル}OPTICAL/^{ライン}LINE ^{イン}IN 端子には何も接続しないでください。

6章

マイク録音

音声に合わせて録音を始める
(シンク口録音)

マイクからシンク口録音するとき、マイクからの無音状態が3秒以上続くと自動的に一時停止になります。このとき、曲番がつきます。(録音開始後、約10秒間は一時停止しません。)再び音声が入ると、自動的に録音が始まります。



1 MDを入れる。(P.20)

2 マイクをつなぐ。(P.51)

3 **REC** を2秒以上押す。

- 録音の一時停止状態になります。
- 本体の **REC** は押すだけで、録音の一時停止状態になります。

4 グループ録音するときは、**GROUP** を1秒以上押し、**GROUP** を点灯させる。

グループ録音しないときは、**GROUP** を1秒以上押し、**GROUP** を消灯させてください。






5 **M** を **◀** または **▶** 方向に動かして、録音レベルを調整する。(P.29)





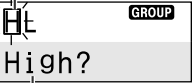
本体の **◀** または **▶** を押しても操作できます。

6 **MODE** をくり返し押し、録音モードを選ぶ。(P.30)

7  を押す。

メニュー選択モードになります。


- 8  を  または  メニューの頭文字
方向に動かして、
“M(Mマイク SYNCシンクロ
LEVEL)”を選んで 
を押す。
- 
- メニューの内容





- 9  を  または  メニューの頭文字
方向に動かして、マイ
クシンクロレベルを選
んで 
を押す。
- 
- メニューの内容

H (High) : -24dB をこえると録音を開始します。
(小さな音でも録音開始)

L (Low) : -12dB をこえると録音を開始します。


10  を押す。

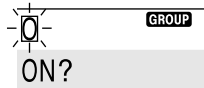
- メニュー選択モードになります。
- 本体の  を押しても、操作できます。
(そのときは、操作11~12を行う必要はありません。)

- 11  を  または 
方向に動かして、
“S(Sシンクロ)”を選んで

を押す。

メニューの頭文字



- 12  を押す。
シンクロ録音の一時停止状
態になります。



- 13 マイクから音声が入ると、自動的に録音が始まる。

お知らせ

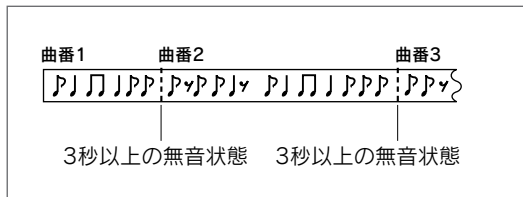
- シンクロ録音するとき、雑音などで録音が始まる
ときは、録音の感度を“L (Low)”に設定してく
ださい。
- 録音の感度は、録音中でも切り換えできます。
- 録音レベル表示 (リモコン) が “MIC 21” と
“MIC 20” の間で切り換わるとき、音が一瞬と
ぎれますが故障ではありません。

6章

マイク
録音音声を合わせて録音を始める
(シンク口録音)(続き)

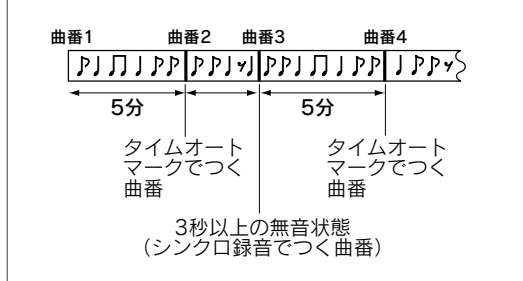
曲番について

3秒以上の無音状態で自動的に一時停止して、曲番がつきます。



タイムオートマークを設定しているときは、3秒以上の無音状態でつく曲番に加えて、一定間隔での曲番もつきます。

例: タイムオートマークを「5分」に設定したとき



曲番のつく間隔を変える(タイムオートマーク)

- 録音の一時停止中または録音中に、**(M)** を押す。
メニュー選択モードになります。
 - (M)** を **◀** または **▶** 方向に動かして、
“T(TIME MARK)” を選んで **(M)** を押す。
メニューの頭文字
GS TIME M
メニューの内容
 - (M)** を **◀** または **▶** 方向に動かして、タイムオートマークの間隔を選んで **(M)** を押す。
メニューの頭文字
0153
5min?
メニューの内容
- 0 (OFF) : マークが付きません。
1 (10min) : 約 10 分毎にマークが付きます。
5 (5min) : 約 5 分毎にマークが付きます。
3 (3min) : 約 3 分毎にマークが付きます。
- マークの間隔は、実際の録音時間と比較して多少ずれを生じることがあります。
- メニューの選択は、25 秒以内に行ってください。
 - 操作中に、**(CLEAR)** を押すと 1 つ前の表示に戻ります。
 - 操作を中止するには、**(M)** を **■** 方向に動かしてください。

7章

MDの編集

録音したMDにタイトルをつける

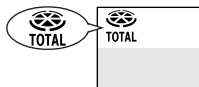
名前をつけたいMDを入れてください。





ディスク名をつけるには

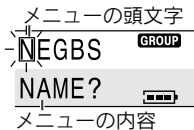
停止中、動作表示が  か確認してください。





動作表示が  のときは  を  方向に動かしてください。

- 1 停止中に、 を押す。
メニュー選択モードになります。



- 2  を  または  方向に動かして、
ネーム
“N(NAME)” を選んで
 を押す。

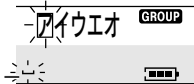


- 3  を  または  方向に動かして、
ディスク
“D(DISC)” を選んで
 を押す。

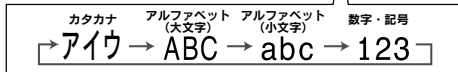
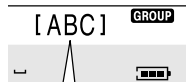


文字の入力状態になります。




文字の入る位置 (カーソル) 




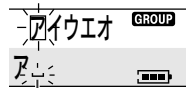
- 4  を  方向に動かして、
文字の種類を選ぶ。



 をくり返して押しても操作できます。


- 5  を  または  方向に動かして、
入れたい文字を選ぶ。

- 6 入れたい文字が表示されたら、 を押す。



次の文字の入る位置

- 7 続きの文字を入力する。
操作4~6をくり返し、必要な文字を入力します。

- 8 文字を入力したあと、
 を1秒以上押す。
ディスク名が登録されます。







グループ名をつけるには





グループモードを設定してください。

1 停止中に、 を押す。





メニュー選択モードになります。

2  を  または  方向に動かして、“N
(NAME)” を選んで
 を押す。

メニューの頭文字
NEGBS 
ネーム
NAME? 
メニューの内容


3  を  または  方向に動かして、“G(GROUP)”
を選んで  を押す。





メニューの頭文字
DG 
グループ
GROUP? 
メニューの内容



4  を  または  方向に動かして、名前をつけたいグループを選んで  を押す。
文字の入力状態になります。

5 文字を入力する。P.57 (操作 4 ~ 8)
グループ名が登録されます。




曲名をつけるには

1 曲名をつけたい曲の一時停止中に、 を押す。
メニュー選択モードになります。







2  を  または  方向に動かして、“N
(NAME)” を選んで
 を押す。

メニューの頭文字
NEG 
NAME? 
メニューの内容

3  を押す。
文字の入力状態になります。

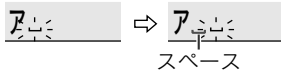
 
TRACK? 

4 文字を入力する。P.57 (操作 4 ~ 8)
曲名が登録されます。

- メニューの操作は、25秒以内に行ってください。
- 操作中に、 を押すと1つ前の表示に戻ります。(文字の入力中は、入力状態の前の表示に戻ります。)
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。(文字の入力中は  を押したあと、 を  方向に動かしてください。)

スペース (空白) を入れるとき

文字の種類からスペースを選んで入力することもできますが、**(+)** を押すと、カーソルが右に移動して、その部分がスペースになります。



入力できる文字

カタカナ アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト ナニヌノハヒフヘホマミムメモヤユヨ ラリルレロ ワランアイウエオヤユヨツ ° - / □
アルファベット (大文字) A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . , / □
アルファベット (小文字) a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z . , / □
数字・記号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ _ □

(注) ここで表している文字は、実際の表示文字とは異なります。

濁音や半濁音を入れるとき

濁音や半濁音つきの文字(「ペ」や「パ」など)は、1文字で入れることはできません。濁音や半濁音をつけたい文字を入れたあと、次の文字として濁音(゜)や半濁音(゜)を入れます。

お知らせ

- 1枚のディスクには、ディスク名を1つ、グループ名を最大99グループ分、曲名を最大255曲分つけることができます。ディスク名、グループ名、曲名には、それぞれ最大40文字入れられ、合計約1,700文字入れられます。
- 名前に“/”を連続してつけることはできません。
- この製品でグループ録音したMDに、他の機器でディスク名をつけしないでください。正しく動かなくなることがあります。
- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正しく表示されないことがあります。
- 他の機器でカタカナ入力されたMDは、この製品では正しく表示されないことがあります。
- ディスク名、グループ名または曲名で入力した文字が40文字を超えると“N-FULL”と表示されます。
- 40文字入ったディスク名、グループ名または曲名を変更するとき“NAME CUT”が表示されます。文字を削除し、新しい文字を入れてください。
- 名前の先頭に“LP:”を入力すると、“LP:”が表示されないことがあります。

7章

MDの編集

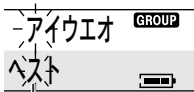
録音したMDにタイトルをつける(続き)

■文字を追加するとき 例)「ヘスト」→「ベスト」

1 文字の入力状態にする。

ディスク名を修正するとき P.57 操作1～3
 グループ名を修正するとき P.58 操作1～4
 曲名を修正するとき P.58 操作1～3

2 または を押して追加したい位置の右の文字を選ぶ。

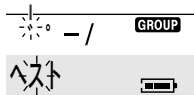


追加したい位置の右の文字

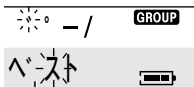
3 追加する文字を選ぶ。

P.57 操作4～5

追加したい文字



4 を押す。



追加

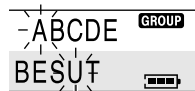
5 を1秒以上押す。

■文字を削除するとき 例)「BESUT」→「BEST」

1 文字の入力状態にする。

ディスク名を修正するとき P.57 操作1～3
 グループ名を修正するとき P.58 操作1～4
 曲名を修正するとき P.58 操作1～3

2 または を押して削除したい文字を選ぶ。



削除したい文字

3 を押す。



4 を1秒以上押す。



■文字を変更するとき

変更したい文字を削除したあと、新しい文字を追加してください。

7章

MDの
編集他のMDから
タイトルを
スタンプする

■ スタンプする前に

次のような、同じ曲を録音したMDが2枚あるときは、1枚目のMD（マスターMD）の文字情報（ディスク名、グループ名、曲名）を同時に、もう1枚のMD（スタンプ用MD）に、スタンプすることができます。

1. マスターMDとは



曲および文字情報の
入った録音用MD。

再生専用MDからは文字情報をスタンプすることはできません。

2. スタンプ用MDとは



マスターMDと同じ曲が
同じ順番で入ったMD。
(曲のみ)

マスターMDとスタンプ用MDの総曲数が一致していることを確かめてください。

お知らせ

- グループ録音されていないMDから、グループ録音されているMDにスタンプすると、ディスク名、曲名はつきますが、グループ分けはなくなります。
- グループ録音されているMDから、グループ録音されていないMDにスタンプすると、自動的にグループ分けされます。

■ 文字情報をスタンプする



1 マスターMDを入れる。



マスターMD

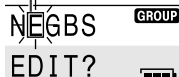
マスターMDとスタンプ用MDの区別をつけておいてください。

2 停止中に、**(M)** を押す。

メニュー選択モードになります。

- 3 **(M)** を **◀** または **▶** 方向に動かして、“E (EDIT)” を選んで **(M)** を押す。

メニューの頭文字



メニューの内容

次のページにつづく

7章 MDの編集

他のMDからタイトルをスタンプする(続き)



4 を ← または → 方向に動かして、“N(NAME STAMP)”を選んで を押す。

メニューの頭文字

 NAME S
 メニューの内容
 READ
 OK ?
 (情報を読み込んでよいかの確認表示です)

5 を押す。

Readin
 (情報を読み込んでいます)
 CHANGE
 MD

6 ^{チェンジ} “CHANGE MD” と表示されたら、マスターMDを取り出す。

INSERT
 MD
 マスターMDを取り出すとき、電源を切らないでください。操作が中止されます。



(完了)

7 スタンプ用MDを入れる。



スタンプ用MD

TOC RE

WRITE

OK ?

(情報を記録してよいかどうかの確認表示です)

8 を押す。

情報の記録が終わり、停止状態になります。

Writin

EDIT

COMPLE

マスターMDとスタンプ用MDの総曲数(トラック数)が一致していないときは、次のように表示され、電源が切れます。
 (このようなときは、編集操作で総曲数を一致させてください。)

Can't E

- メニューの選択は、25秒以内に行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を 方向に動かしてください。



7章




MDの
編集


MDのいろいろな編集





1 曲を消す (トラックイレース)

1 曲ずつ消すことができます。





- 1 消したい曲の再生中に、
 を  方向に動かして、一時停止にする。

停止中に、 を  または  方向に動かして、選ぶこともできます。

- 2  を押す。
 メニュー選択モードになります。

- 3  を  または  方向に動かして、
エディット
 “E(EDIT)” を選んで
 を押す。



- 4  を  または  方向に動かして、
イレース
 “E(ERASE)” を選んで
 を押す。






(確認表示です)

- 5  を押す。

- 曲が消えます。
- 消した曲以降の曲番は、1つずつ小さくなります。



- メニューの選択は、25 秒以内に行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。

続けて他の曲を消すには

操作1～5をくり返します。

お知らせ

グループ内のすべての曲を消すと、そのグループとグループ名は消えます。

ご注意

曲を消すと、もとは戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

すべての曲を消す (オールイレース)

全曲を消すことができます。

1 停止中に、を押す。

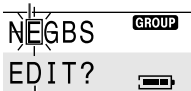
メニュー選択モードになります。

2 を  または  方向に動かして、

“E(EDIT)” を選んで

を押す。

メニューの頭文字



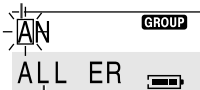
メニューの内容

3 を  または  方向に動かして、

“A(ALL ERASE)” を

選んで を押す。

メニューの頭文字



メニューの内容

ERASE

OK ?




(確認表示です)

4 を押す。

すべての曲が消えます。

EDIT

COMPLE 



- メニューの選択は、25秒以内に行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。

注意





曲を消すと、もとは戻せません。
消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

曲を分ける (デバイド)

1つの曲を2つに分けることができます。





1 再生中に、曲を分けたいところで、
 を  方向に動かして、一時停止にする。

2  を押す。
 メニュー選択モードになります。

3  を  または  方向に動かして、
 “E(EDIT)” を選んで
 を押す。

メニューの頭文字


 メニューの内容

4  を  または  方向に動かして、
 “D(DIVIDE)” を選んで
 を押す。

メニューの頭文字





 メニューの内容


 (確認表示です)

5  を押す。

- 曲が分けられ、うしろの曲の頭で一時停止状態になります。
- 分けた曲以降の曲番は、1つずつ大きくなります。

EDIT 
 COMPLE 

- メニューの選択は、25秒以内に行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。

分ける曲に曲名がついているとき



曲を分けると、両方の曲に同じ曲名がつきます。
 ただし、“T-FULL”^{トックフル}状態では、うしろの曲に曲名がつかないことがあります。(P.85)




分けられる曲数について

1枚のMDで最大255曲まで曲を分けることができます。
 ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。(P.88)

曲をつなぐ (コンバイン)




連続した2つの曲を1つにつなぐことができます。


1 つなぐ後ろの曲を再生中に、
 を  方向に動かして、一時停止にする。

停止中に、 を  または  方向に動かして、選ぶこともできます。

2  を押す。

メニュー選択モードになります。




3  を  または  方向に動かして、
エディット
 “E(EDIT)” を選んで

 を押す。

メニューの頭文字

NEG B GROUP
 EDIT? GROUP

メニューの内容

4  を  または  方向に動かして、
コンバイン
 C(COMBINE)” を選んで

 を押す。

メニューの頭文字

BOEMAN GROUP
 COMBIN GROUP

メニューの内容

03 + GROUP

04ok? GROUP

(確認表示です)

5  を押す。

- 曲がつながり、つながった曲の頭で一時停止状態になります。(操作1を停止中に行ったときは、停止状態になります。)
- つないだ曲以降の曲番は、1つずつ小さくなります。

- メニューの選択は、25秒以内に行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。


つなぐ曲に曲名がついているとき


曲名は、前の曲のものになります。ただし、前の曲に曲名がついていないときは、うしろの曲名がつかます。

こんなときは、つなげられないことがあります

- デジタル入力で録音した曲と、アナログ入力で録音した曲。
- 12秒以下の短い曲。
- 録音モード(ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音、モノラル録音)の異なる曲。

離れた2つの曲をつなぐとき

「ムープ」( P.67) を使って2つの曲を連続させたあと、つないでください。

グループにしている曲はグループ内の曲しかつなぐことができません。別のグループの曲とつなぐときは「グループチェンジ」( P.69) を使ってグループを移動させたあとつないでください。

曲を移動する (ムーブ)

曲を希望する位置に移動することができます。

1 移動したい曲の再生中に、

Ⓜ を ▶ 方向に動かして、一時停止にする。

停止中に、Ⓜ を ◀ または ▶ 方向に動かして、選ぶこともできます。

2 Ⓜ を押す。

メニュー選択モードになります。

3 Ⓜ を ◀ または ▶

方向に動かして、
“E(EDIT)” を選んで

Ⓜ を押す。

メニューの頭文字

NEGB GROUP
EDIT?

メニューの内容

4 Ⓜ を ◀ または ▶

方向に動かして、
“M(MOVE)” を選んで

Ⓜ を押す。

メニューの頭文字

DCEMAN GROUP
MOVE?

メニューの内容

(確認表示です)

05 → GROUP
01ok?

5 Ⓜ を ◀ または ▶

方向に動かして、移動先
を選ぶ。

05 → GROUP
03ok?

移動先の曲番 (確認表示です)

6 Ⓜ を押す。

- 曲が移動し、その曲の頭で一時停止状態になります。(1の操作を停止中に行ったときは、停止状態になります。)
- 移動した曲以降の曲番は、自動的に新しい曲番に変わります。
- メニューの選択は、25秒以内に行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、Ⓜ を ◀ 方向に動かしてください。

別のグループに移動するとき

グループ録音している曲は、グループ内での移動しかできません。
別のグループに移動するには「グループチェンジ」(P.69)を使って曲を移動してください。

7章

MDの編集

さらにグループ録音したMDでは、こんな編集ができます

グループネーム (☞ P.58)

グループ名をつけて探しやすいことができます。もちろんディスク名や曲名も入ります。

グループチェンジ (☞ P.69)

ちがうグループに曲を移動することができます。



グループトップムーブ (☞ P.70)

録音したグループをMDの先頭に移動することができます。



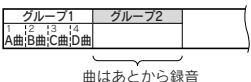
グループイレース (☞ P.71)

グループ内の曲をまとめて消すことができます。



グループリザーブ (☞ P.72)

あらかじめグループを作成し、あとからそのグループの中に録音することができます。



グループアレンジ (☞ P.73)

グループ録音されたMDで、ノングループの曲が途中にあった場合は、ノングループの曲をグループの後に移動することができます。



グループキャンセル (☞ P.74)

グループ情報を全て消去することができます。



お知らせ

- グループ録音したMDを他の機器で編集すると正しく動作しないことがあります。
- 再生専用MDや誤消去防止状態 (☞ P.20) のMDを編集することはできません。

グループ録音したMDは、グループモードが解除されていると編集できないメニューがあります。グループモードを設定して、操作してください。

7章

MDの
編集

いろいろなグループ編集

曲を別のグループに移動する（グループチェンジ）

ちがうグループに曲を移動することができます。

1 移動したい曲の再生中に、

Ⓜ を ▶ 方向に動かして、一時停止にする。
停止中に、Ⓜ を ◀ または ▶ 方向に動かして、選ぶこともできます。

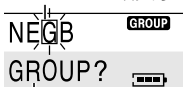
2 Ⓜ を押す。

メニュー選択モードになります。

3 Ⓜ を ◀ または ▶

方向に動かして、
グループ
“G(GROUP)”を選んで
Ⓜ を押す。

メニューの頭文字



メニューの内容

4 Ⓜ を ◀ または ▶

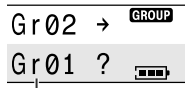
方向に動かして、
グループチェンジ
“C(GrCHANGE)”を
選んで Ⓜ を押す。

メニューの頭文字



メニューの内容

5 Ⓜ を ◀ または ▶
方向に動かして、移動
先のグループを選ぶ。



移動先のグループ（確認表示です）

6 Ⓜ を押す。



ちがうグループの最後に曲が移動し、移動した曲の頭で一時停止状態になります。（操作1を停止中に行ったときは、停止状態になります。）

- メニュー選択中は、25秒以内に操作を行ってください。
- 操作中に、CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、Ⓜ を ▾ 方向に動かしてください。

お知らせ

- グループ内のすべての曲を別のグループに移動すると、そのグループとグループ名は消えます。
- ノングループの曲も、同じ操作でグループに移動できます。

グループを先頭に移動する(グループトップムーブ)

録音したグループをMDの先頭に移動することができます。

1 停止中に、移動したいグループを選ぶ。

(P.39)

2  を押す。

メニュー選択モードになります。

3  を  または 


方向に動かして、

“G(GROUP)” を選ん

で  を押す。

メニューの頭文字

NEGBS GROUP

GROUP? 

メニューの内容

4  を  または 


方向に動かして、

“T(GrTOPMOVE)” を

選んで  を押す。

メニューの頭文字


TERAC GROUP

GrTOPM 

メニューの内容

(確認表示です)

Gr02 → GROUP




Gr01 ? 5  を押す。

EDIT

GROUP

COMPLE 

グループがMDの先頭に移動します。

- メニュー選択中は、25秒以内に操作を行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。

お知らせ

- グループ名が記録されていると、グループトップムーブをしてもグループ名は変わりません。
- ノングループや曲が録音されていないグループはグループトップムーブすることはできません。

グループを消す(グループイレース)

グループ内の曲をまとめて消すことができます。

1 停止中に、消したいグループを選ぶ。

(参照 P.39)

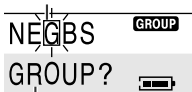
2  を押す。

メニュー選択モードになります。

3  を  または  方向に動かして、

グループ
“G(GROUP)” を選んで  を押す。

メニューの頭文字



メニューの内容

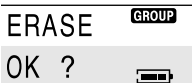
4  を  または  方向に動かして、

グループ アンドトラックイレース
“E(Gr&TrERASE)” を選んで  を押す。

メニューの頭文字






メニューの内容



(確認表示です)

5  を押す。

- 選んだグループが消えます。
- 消したグループ以降のグループにグループ名がついていないときは、グループ番号が1つずつ小さくなります。

- メニュー選択中は、25秒以内に操作を行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。

お知らせ

グループイレースすると、そのグループとグループ名も消えます。

注意

グループを消すと、もとはには戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

7 章

MDの
編集

いろいろなグループ編集(続き)

録音する前にグループを作成する(グループリザーブ)

あらかじめグループを作成し、あとからそのグループの中に録音することができます。

1 停止中に、**(M)** を押す。

メニュー選択モードになります。

2 **(M)** を **◀** または **▶**

方向に動かして、

“G(GROUP)” を選んで **(M)** を押す。

メニューの頭文字

NEGBS GROUP
GROUP?

メニューの内容

3 **(M)** を **◀** または **▶**

方向に動かして、

“R(GrRESERVE)” を選んで **(M)** を押す。

メニューの頭文字

TERAC GROUP
GrRESE

メニューの内容

文字の入力状態になります。

アイウエオ GROUP

4 グループ名を入力する。(P.57 操作4~7)

名前を入力しないとグループを作成することはできません。

5 **(M)** を 1 秒以上押す。

EDIT GROUP
COMPLE

Gr01 GROUP
0:00

作成したグループが表示されます。

- メニューの選択は、25 秒以内に行ってください。
- 操作中に、**(CLEAR)** を押すと 1 つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、**(M)** を **◀** 方向に動かしてください。

作成したグループに録音するには

「グループを選んで録音するには」(P.32) をご覧ください。

お知らせ

グループリザーブしても曲が録音されていないと、再生されません。(グループ名も表示されません。) グループを確認したいときは、「聞きたいグループをさがすには」(P.39) をご覧ください。

ノングループの曲をグループの後に移動する (グループアレンジ)



グループ録音されたMDで、ノングループの曲が途中にあった場合は、ノングループの曲をグループの後に移動することができます。

1 停止中に、 を押す。

メニュー選択モードになります。

2 を または 方向に動かして、 グループ “G(GROUP)” を選んで を押す。

メニューの頭文字

NEGBS 
GROUP? 


メニューの内容

3 を または 方向に動かして、 グループ アレンジ “A(GrARRANGE)” を選んで を押す。

メニューの頭文字

TERAG 
GrARRA 

メニューの内容




EDIT
OK ? 

(確認表示です)

4 を押す。

EDIT
COMPLE 

ノングループの曲がグループの後に移動します。

- メニューの選択は、25 秒以内に行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。

お知らせ





グループアレンジをすると、ノングループの曲はすべて後に移動されるため、元の曲順がわからなくなります。

グループ情報を消去する(グループキャンセル)





グループ情報を全て消去することができます。
グループ情報を消去すると、グループ録音していないMD
になります。


1 停止中に、 を押す。


メニュー選択モードになります。

2  を  または  方向に動かして、
“G(GROUP)” を選んで  を押す。

メニューの頭文字
NEGBS 
GROUP? 
メニューの内容

3  を  または  方向に動かして、
“C(GrCANCEL)” を選んで  を押す。

メニューの頭文字
TERAD 
GrCANC 
メニューの内容




EDIT
OK ? 

(確認表示です)

4  を押す。

EDIT
COMPLE 

グループ情報がすべて消去されます。

- メニューの選択は、25秒以内に行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。

注意

グループキャンセルすると全てのグループ情報が消去されます。
消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

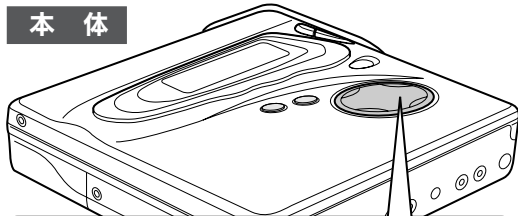
8章

使
便
い
利
な

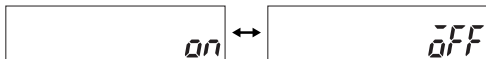
誤
動
作
防
止
に
つ
い
て

混雑した電車などで、誤って操作ボタンが押されても、現在の状態が変わらないようにすることができます。(本体とリモコンは別々に機能します。)

本 体



を2秒以上押す。



ホールド設定

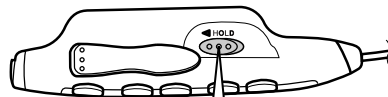
ホールド解除

電源がOFFの状態でも電池またはACアダプターが繋がっている状態であれば設定できます。

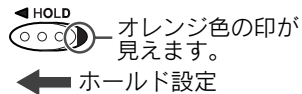
解除するには

ホールド設定の状態でも 2秒以上押す。

リモコン



ホールド
HOLDスイッチを矢印の方向にずらす。



解除するには

矢印と反対の方向にずらします。

電源を切った状態でホールド設定をすれば、誤って電源が入ることなく、電池の消耗を防ぐことができます。

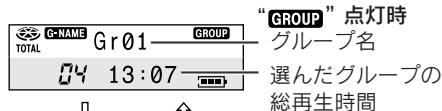
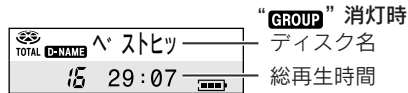
8 章

使
便
利
な表
示
内
容
を
確
認
す
る

録音残り時間・総再生時間を確認する

停止中に、**MODE** を1秒以上押す。

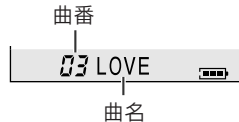
押すたびに切り換わります。



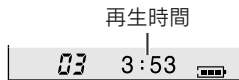
- 再生専用MDでは、録音残り時間は表示されません。
- 録音残り時間は、設定されている録音モードによって時間の表示が異なります。
- ディスク名が記録されていないときは、“NoNAME”と表示されます。
- グループ名が記録されているときはグループ名が表示されます。
- 録音残り時間を表示しているときは、曲番は表示されません。

各曲の再生時間を確認する

- 1 停止中に、**M** を ◀ または ▶ 方向に動かして、曲番や曲名を選ぶ。



- 2 **MODE** を1秒以上押す。



再生時間を表示したあとは、曲番を選ぶだけで選んだ曲の再生時間が確認できます。

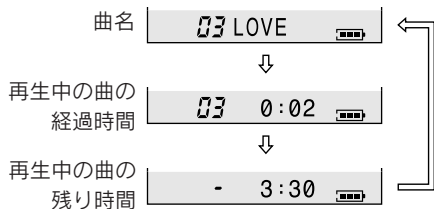
グループモードでの曲番はグループ内での曲番が表示されます。

- 曲名、再生時間表示から **M** を押すと、総再生時間表示に切り換わります。

経過時間・残り時間を確認する

再生中または一時停止中に、

MODE
-DISP を1秒以上押す。
押すたびに切り換わります。

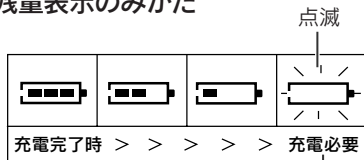


- 曲名が記録されていないときは、“^{ノーマム}NoNAME”と表示されます。
- この製品は、MDの標準規格に従ったカタカナ文字の表示が可能になっています。他の機器でMDを再生した場合は、カタカナ表示にならないことがあります。
- 経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。
- 再生中の曲の残り時間を表示しているときは、曲番は表示されません。


電池残量を確認する

電池残量は、充電電池または乾電池で動作中に表示されます。

電池残量表示のみかた



(充電しなおすが、新しいアルカリ乾電池と交換)

- 完全に消耗すると、“^{ロー バッテリー}LoBATT”が表示されたあと、電源が切れます。
- 充電電池や乾電池でお使いの場合、電源を入れたときに電池の容量を確認するために、約20秒間は電池残量表示が安定しないことがあります。
- 動作内容によって目盛が増減することがあります。
- 付属のACアダプターで使用するときは、電池残量表示はできません。
- 充電を途中で止めて充電電池を使って操作を行うと、“”表示することがあります。このときの表示は、フル充電していることを示すものではありません。

8章

使
便
利
な

初
期
設
定
を
変
え
る

1 MDを入れる。(P.20)

2 停止中に、 を押す。

メニュー選択モードになります。

3  を  または  メニューの頭文字

方向に動かして、

「S(SETUP)」を選んで

 を押す。



4  を  または  メニューの頭文字

方向に動かして、

「メニュー」を選んで

 を押す。

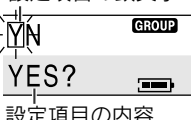


5  を  または  設定項目の頭文字

方向に動かして、




「設定項目」を選んで

 を押す。



メニュー	設定項目	
B(BEEP) キータッチ音	Y(YES)※ 鳴らす	N(NO) 消す
A(AUTO PLAY) オートプレイ	Y(YES)※ 設定	N(NO) 解除
P(PowerSave) オートパワー セーブ	Y(YES)※ 設定	N(NO) 解除
D(D-LEVEL) デジタル録音 レベルモード	1(D.L 1)※ 設定保持	2(D.L 2) 設定解除
L(LIGHT) ●7色光サイン の照明 ●リモコンの バックライト	N(NORM)※ A(ALL) O(OFF) 設定内容については次のページを 参照ください。	

※印は、お買いあげ時の設定です。

- メニュー選択中は、25秒以内に操作を行ってください。
- 操作中に、 CLEAR を押すと1つ前の表示に戻ります。
- 操作を中止するには、 を  方向に動かしてください。

キータッチ音

操作したときに“ピツ”という音を鳴らさないようにすることができます。

オートプレイ

MDを入れても、自動再生しないようにすることができます。

オートパワーセーブ

振動が多い所で使用するとき、解除すると音とびをしにくくすることができます。

(電池持続時間は短くなります。)

オートパワーセーブについて

再生中は最大約 40 秒間 (ステレオ (SP) モード時) の音楽情報を蓄積しています。その蓄積時間を5~40秒の間で自動的に調整して、消費電力を少なくするのが、「オートパワーセーブ」です。この機能を解除すると、蓄積時間は調整されません。

- ACアダプターで使用するとき、設定にかかわらず約 40 秒になります。
- 録音されたときの録音モードにより、蓄積時間は異なります。

デジタル録音レベルモード

「D.L 1」：デジタル録音レベルを一度調整すると、設定内容は、録音を停止しても保持されます。

「D.L 2」：録音を停止するごとに、デジタル録音レベルは、「D.L 0dB」に戻ります。

7色光サインの照明および、リモコンのバックライト

本体の7色光サインやリモコンの照明パターンを変更することができます。

「NORM」：

7色光サイン 常に点滅
リモコンのバックライト 操作時約 10 秒点灯

「ALL」：

7色光サイン 常に点灯
リモコンのバックライト 操作時約 10 秒点灯 (ACアダプターで使用したときは、常に点灯)

「OFF」：

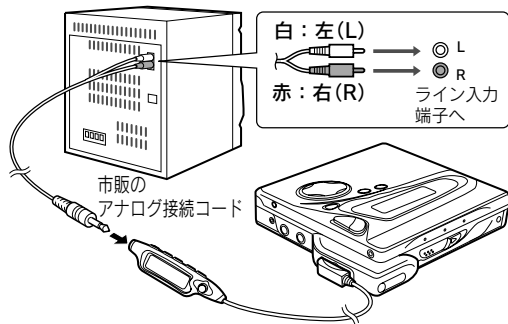
7色光サイン 点灯しません
リモコンのバックライト 点灯しません

8章

使
い
利
方
な

外部機器と接続する

ステレオやラジカセで聞く

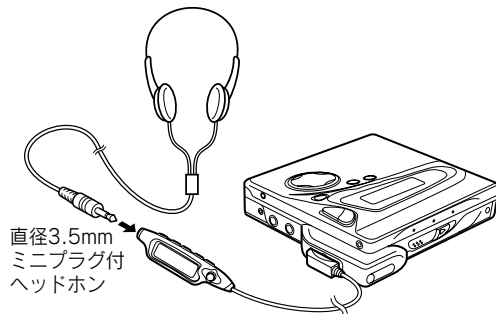


- 他の機器で録音するときは、この製品のキータッチ音を、消しておいてください。(P.78)
キータッチ音を消さないで、キータッチ音も録音されます。
- 録音は、アナログ録音になります。
- 文字情報は記録されません。

お知らせ

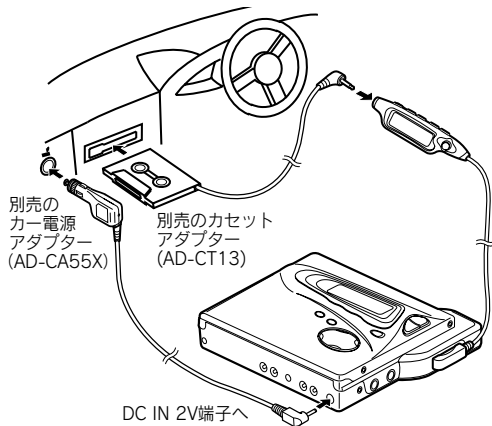
別売品の光デジタルケーブルとデジタルサウンドカードを使うと、パソコンの音楽データをMDに録音することができます。

市販のヘッドホンで聞く



使用するヘッドホンによって、電池持続時間が変わります。
ヘッドホンは、直接本体につなぐこともできます。

カーステレオで聞く



- 音量は、この製品とカーステレオの両方で調整してください。
- 運転中は、MDポータブルレコーダーを操作しないでください。事故の原因となります。
- 車内など高温になる場所には、放置しないでください。本体が熱くなると、液晶表示部全体が濃い青色になり、表示が見えにくくなります。温度が下がると正常に表示されます。

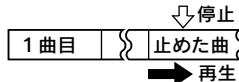
カー電源アダプターについて

カー電源で使用するときは、別売のカー電源アダプター (AD-CA55X) が必要です。指定以外のカー電源アダプターは使用しないでください。

カー電源アダプターで使用するときは、充電池を取り出してください。充電池が入っていると、再生中に車のエンジンを“切”にしても再生が続き、本体の電源は切れません。

■ AD-CA55Xを使用すればこのような使いかたができます。

- 1.再生中に車のエンジンキーを“切”にすると、この製品の電源も切れます。
(一部、切れない車種もあります。)
- 2.このあと、エンジンキーを“入”にすると、止めた曲の頭から再生が始まります。



次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、93ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

電源が入らない

- ➔ ACアダプターがはずれていませんか。☞P.18
- ➔ 電池が消耗していませんか。☞P.16
- ➔ 誤動作防止状態になっていませんか。☞P.75
- ➔ 「つゆつき現象」がおきていませんか。☞P.83
- ➔ 衝撃や静電気などの影響を受けていませんか。☞P.83

音が聞こえない

- ➔ 音量が最小になっていませんか。☞P.37
- ➔ リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。☞P.36
- ➔ 音楽用MD以外のMDデータディスクを再生していませんか。

操作ボタンを押しても操作ができない

- ➔ 誤動作防止状態になっていませんか。☞P.75
- ➔ 充電中ではありませんか。☞P.16
- ➔ 電池が消耗していませんか。☞P.16
- ➔ リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。☞P.36

音がとぎれる

- ➔ 電池が消耗していませんか。☞P.16
- ➔ 振動が多い場所で使用していませんか。

MDが取り出せない

- ➔ 曲番や文字情報などの書き込み中ではありませんか。 (“T-EDIT”^{エディット}表示) ☞P.33
- ➔ 録音中、または編集集中ではありませんか。

録音や編集ができない

- ➔ MDが誤消去防止状態になっていませんか。☞P.20
- ➔ 録音レベルが調整されていますか。☞P.29
- ➔ 他の機器と正しく接続されていますか。☞P.22
- ➔ 録音中または編集中に、ACアダプターがはずれたり停電になっていませんか。
- ➔ 誤動作防止状態になっていませんか。☞P.75
- ➔ 入力可能なサンプリング周波数ですか。☞P.23
- ➔ 他の機器の光出力が出ていますか。他の機器の取扱説明書を読んでください。

充電できない

- ➔ 充電池が入っていますか。☞P.16
- ➔ 端子が汚れていませんか。☞P.92

グループ録音したMDでグループが使えなくなった

- ➔ 他の機器でTOCが書き換えられた可能性があります。

名前のカタカナがローマ字になり正しく表示されない

- ➔ 他の機器でTOCが書き換えられた可能性があります。

異常が起きたら

この製品を使用中に、衝撃、過大な静電気、または落雷によってコンセントから異常な電圧が流れた場合や、誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときには、次のようにしてください。

- ① ACアダプターをコンセントからはずす。
- ② 電池をはずす。
- ③ 約30秒間そのままにしておく。
- ④ ACアダプターをコンセントにつないで操作する。

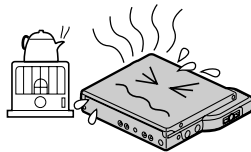
注意

- この製品をテレビ、スピーカーなど磁気の帯びたものの近くで使用したり、放置しないでください。故障の原因となります。
- ラジオやテレビに雑音や映像の乱れが生じるときは、この製品を離してください。
- MDによっては、記録された各情報に異常があるとき、音がとぎれたり、再生の途中で停止したりすることがあります。
このようなときは、故障と思われて修理を依頼される前に、他のMDでもお確かめください。

つゆつき現象について

次のような場合には、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことにより、正常な動作をしなくなることがあります。

- 暖房をつけた直後
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい所に移動したとき



つゆを取るには

MDを取り出して約1時間くらい置いておけば、つゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

9章

ご参考に

こんな表示がでたら

表示	意味
BLANK	● 音楽や文字情報が記録されていない [録音された MD と取り換えてください]
busy	● 曲を移動中
Can'tC	● コピー禁止のものから録音しようとした ● 音楽以外（データなど）の信号を録音しようとした [アナログ入力で録音してください]
Can'tE	● 編集できない [別の曲を編集してみてください]
Can'tL	● MD 取出しつまみを操作しながら録音、編集しようとした
Can'tP	● 再生できない
Can'tR	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった
Can'tS	● ディスクにキズがついていたりして、情報を読み取れない
Can'T ※ Can'tU	[MD をもう一度入れ直すか他の MD と取り換えてください]

表示	意味
Can'tSTAMP	● スタンプできない [曲数を確かめてください]
Can'tW	● TOC 情報を正しく MD へ記録できない
CH (本体に表示)	● 充電中に操作をしようとした
D-FULL	● MD に録音できる空きがない
DEFECT	● ディスクにキズがある [再生した音が異常であれば録音をやり直すか他の録音用 MD と取り換えてください]
Er-MD ※※	● 自己診断により故障と判断した [修理を依頼してください]
G-FULL	● グループ数が 99 をこえている [不要なグループを消してください]
HOLD	● 誤動作防止状態になっている
LoBATT	● 充電池や乾電池の残量がなくなった
LOCKED	● 録音中、または編集中に MD を取り出そうとした [電源を切ってから MD を取り出してください]

表示	意味
N-FULL	● ディスク名・グループ名・曲名が40文字をこえている [ディスク名・グループ名・曲名を短くしてください]
NoDISC	● MDが入っていない
noSIG.	● デジタルケーブルの接続不良 ● 再生する機器から出力信号が出ていない [再生する機器はAC電源を使ってください] ● 入力した信号が適切なサンプリング周波数ではない
NoTRACK	● 再生する曲がない [曲のあるグループ、ノングループを選んでください]
PLAYmd	● 再生専用MDに録音や編集をしようとした
POWER?	● 充電スタンドに異常がある [修理を依頼してください]
PROTECTED	● MDが誤消去防止状態になっている
Sorry	● 曲番を検索中または書き込み中のため操作できない [少し待って操作してください]

表示	意味
T Form ※	● ディスクへ記録した情報に異常がある [すべての曲を消し、録音をやり直してください]
T-FULL	● 文字情報(ディスク名・グループ名・曲名など)または曲番情報を記録する空きがない
TEMP!	● 温度が高くなりすぎた [電源を切つてしばらく休ませてください]
Tr. Protect	● 曲が誤消去防止状態になっている [曲を録音した機器で編集してください。またはすべての曲を消してください]
?DISC	● 音楽以外(データなど)が入ったMDを使用した [データなどが入ったMDは再生できません]
?GrForm	● グループ録音やグループリザーブができない [ディスク名を消して、やり直してください]

※には数字や記号が入ります。

- 操作を受け付けられない場合など、本体では“—”と表示されることがあります。内容についてはリモコンの表示をごらんください。

9 章

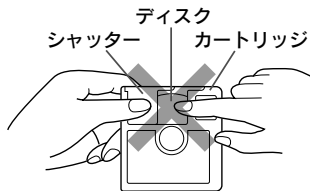
ご参考に

MDについて

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ホコリ・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取り扱えます。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ホコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

取り扱いについて

- シャッターを開けてディスクに直接触れないで！
- MDは絶対に分解しないで！



- シャッターは無理に開けるとこわれます。
- カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

保管場所について

必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所(特に密閉した自動車内等)
- 温度や湿度の高い所
- カートリッジの中に砂やホコリが入りやすい場所(海辺や砂地等)

ラベルを貼り付けるときのお願い

MDカートリッジにラベルを正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所(エリア内)に正しく貼ってください。(指定エリア以外には貼り付けないでください。)
- ラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。



デジタルコピーに関するご注意

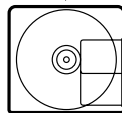
デジタル入力で録音したMDを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音(コピー)することはできません。

これは、SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)により定められた規格です。なお、アナログ入力にはこのような制限はありません。

CDプレーヤー
MDプレーヤー
などの
デジタル機器

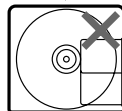
デジタル信号

↓ デジタル接続



デジタル信号を
デジタルで録音

↓ デジタル接続



録音できません
デジタル録音したMDを、
さらにデジタル接続で
別のMDに録音すること
はできません。

MDは録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがありますが、故障ではありません。

MDの最大録音時間に満たなくても“D-FULL”^{フル}または“T-FULL”^{フル}が表示されることがある

録音時間に関係なく、曲数が最大(255曲)になると録音できなくなります。
また、録音・編集をくり返したMDやMDにキズがある場合(その部分は自動的に録音不可となる)は、上記未満でも録音・編集できないことがあります。
文字情報(ディスク名・グループ名・曲名)の合計が約1700文字を超えると編集できなくなります。

短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある

MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下(ステレオ録音(SP)時)の無録音部分は無視されます。
このため、短い曲を何曲消しても残り時間が増えないことがあります。(録音モードにより秒数は異なります。)

MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間に一致しないことがある

通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位として録音されます。これに満たない曲でも約2秒間のスペースを使います。
たとえば、3秒の曲でも2クラスタ(約4秒)のスペースを使います。
このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。
(各秒数は、ステレオ録音(SP)時の値です。録音モードにより異なります。)

編集で曲と曲とをつなげないことがある

録音・編集をくり返して行ったMDでは、曲をつなげることができないことがあります。

録音された曲を早戻し・早送りすると、音のときれが長いことがある

録音・編集をくり返して行ったMDでは、1つの曲が分散して記録されることがあるため、早戻し・早送り中に音がとぎれることがあります。

曲の途中で曲番がつくことがある

録音するMDにゴミやキズがあると、曲番がつくことがあります。

名前の先頭に“LP:”を入力すると“LP:”が表示されないことがある

2倍・4倍長時間録音(LP2・LP4)した曲の曲名の先頭に“LP:”を入力すると“LP:”が表示されません。“LP”のあとに“:”以外の記号や文字を入力してください。

9章

ご参考に

音楽著作権について

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。

したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

- 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど
- 営利(店のBGMなど)のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき
- くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
- この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：(社) 私的録音補償金管理協会
☎ (03) 5353-0336

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3481-2121	横浜支部	☎ (045) 662-6551
北海道支部	☎ (011) 221-5088	静岡支部	☎ (054) 254-2621
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	中部支部	☎ (052) 583-7590
仙台支部	☎ (022) 264-2266	北陸支部	☎ (076) 221-3602
長野支部	☎ (026) 225-7111	京都支部	☎ (075) 251-0134
大宮支部	☎ (048) 643-5461	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
上野支部	☎ (03) 3832-1033	神戸支部	☎ (078) 322-0561
東京支部	☎ (03) 3562-4455	中国支部	☎ (082) 249-6362
西東京支部	☎ (03) 3232-8301	四国支部	☎ (087) 821-9191
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5286-1671	九州支部	☎ (092) 441-2285
立川支部	☎ (042) 529-1500	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
		那覇支部	☎ (098) 863-1228

9 章

ご参考に

仕様について

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。ご了承ください。

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム	
録音方式	磁界変調オーバーライト方式	
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）	
回転数	約 400 ~ 1,350rpm	
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード（ACIRC）	
音声圧縮伸長方式	ATRAC / ATRAC 3（Adaptive TRansform Acoustic Coding）24ビット演算方式	
チャンネル数	ステレオ 2チャンネル / モノラル 1チャンネル	
サンプリング周波数	44.1kHz（32kHz・48kHzは、44.1kHz に変換して録音）	
周波数特性	20 ~ 20,000Hz（± 3dB）	
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK）以下	
入力端子	ライン / 光デジタル兼用、マイク（プラグインパワー対応）	
出力端子	ヘッドホン（インピーダンス 32 Ω） / リモコン端子兼用	
入力感度	MIC H	: 入力レベル 0.25mV（インピーダンス 10k Ω）
	MIC L	: 入力レベル 2.5mV（インピーダンス 10k Ω）
	LINE	: 入力レベル 100mV（インピーダンス 20k Ω）
出力レベル	ヘッドホン	: 最大出力レベル 5mW+5mW（インピーダンス 32 Ω）
	LINE	: 規定出力 250mV（インピーダンス 10k Ω）
電源	本体	DC1.2V : 付属ニッケル水素充電電池（AD-N55BT）x 1
		DC1.5V : 付属乾電池ケース（市販単 3 形アルカリ乾電池 x 1）
		DC1.5V : 別売カー電源アダプター（AD-CA55X）（DC12V / 24V ⊖ 接地車用）
		DC2V : 付属充電スタンド
	充電スタンド	DC5V : 付属 AC アダプター（100V AC、50 / 60Hz）

電池持続時間

使用電池 \ モード	ステレオ		2 倍長時間		4 倍長時間	
付属充電電池(フル充電)使用時 AD-N55BT	連続録音 約 6 時間	連続再生 約 9.5 時間	連続録音 約 8.5 時間	連続再生 約 11 時間	連続録音 約 10 時間	連続再生 約 12.5 時間
市販高容量単 3 アルカリ乾電池 1 本使用時 (充電電池収納)	連続録音 約 6 時間	連続再生 約 14 時間	連続録音 約 9.5 時間	連続再生 約 17.5 時間	連続録音 約 12.5 時間	連続再生 約 19.5 時間
市販高容量単 3 アルカリ乾電池 1 本 + 付属充電電池(フル充電)	連続録音 約 14.5 時間	連続再生 約 24 時間	連続録音 約 20.5 時間	連続再生 約 29.5 時間	連続録音 約 26 時間	連続再生 約 33 時間

- 周囲温度 25℃にて充電し、水平に置いて連続使用したときの標準値です。
(持ち歩いて使用すると、電池持続時間は短くなります。)
- 連続録音時間：アナログ入力で音量レベル“VOL 0” LIGHT OFF 時
- 連続再生時間：音量レベル“VOL 15” LIGHT OFF 時
- 乾電池のメーカーや種類および使用条件によって、電池持続時間は異なります。
- フル充電とは、約 3 時間充電をして電池残量表示が消えてから、さらに約 2 時間充電を続けた状態を言います。

充電時間

約 3 時間 (約 90%) 約 5 時間 (フル充電)

外形寸法

78.9 (幅) x 15.7 (高さ) x 71.9 (奥行) mm
※ USB 接続端子部周辺の突起部など除く

質量

約 130 g (充電電池含む)、約 105 g (本体のみ)

9 章

ご参考に

別売品について
お手入れについて

別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

ACアダプター (AD-SS70AP)	100V～240Vワールドワイド対応 (コードの長さ：約1.8m)
光デジタルケーブル (AD-M1DC)	角形プラグ⇄3.5mm丸形プラグ (コードの長さ：約1m)
光デジタルケーブル (AD-M2DC)	3.5mm丸形プラグ⇄3.5mm丸形プラグ (コードの長さ：約1m)
デジタルサウンドカード (AD-AJ2)	—
ニッケル水素充電電池 (AD-N55BT)	1.2V、1400mAh
カー電源アダプター (AD-CA55X)	12V / 24V ⊖ 接地車専用 (コードの長さ：約1.5m) 出力電圧：1.5V
カセットアダプター (AD-CT13)	コードの長さ：約1.5m
ワンポイントステレオマイク (MC-TS1)	プラグインパワー対応 (コードの長さ：約1m)
タイピンマイク (MC-TP2)	モノラル/プラグインパワー対応 (コードの長さ：約1m)
バウンダリーマイク (MC-BD1)	モノラル/プラグインパワー対応 (コードの長さ：約1.8m)

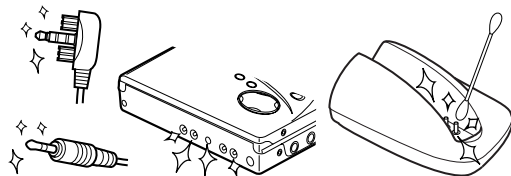
お手入れについて

やわらかい布で軽くふきます。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

接続端子やプラグが汚れていると接触不良の原因となります。定期的に綿棒で空拭きしてください。

(水やアルコールは絶対に使わないでください。)



注意

- 薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないでください。
変質・変色することがあります。
- 油をささないでください。
故障の原因となります。

長年ご使用のオーディオ機器の点検を!

愛情点検



このような
症状は
ありませんか?

- ACアダプターやコードが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- ACアダプターのコードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、電池をはずしてから、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

9 章

ご参考に

保証とアフターサービス

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、MD ポータブルレコーダーの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（94 ページ）にお問い合わせください。

修理のためにこの製品をお持ち込みになるときは、リモコンなどの付属品も一緒をお願いします。本体だけですと、故障の内容によっては修理および検査ができないことがあります。

修理を依頼されるときは **持込修理**

- 「故障かな？」と思ったら（82～83 ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ずACアダプターをコンセントから抜き、充電池などはずしてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話() -

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・
修理相談センター へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・
お客様相談センター へ

修理相談センター

- 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

- 受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時
 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
 呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

- 携帯電話／PHS

でのご利用は・・・

	<東日本地区>	<西日本地区>
（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
（F A X）	043-299-3865	06-6792-3221

- FAX を

送信される場合は・・・

- 沖縄・奄美地区については、右表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

- ◎ 持込修理 および 部品購入のご相談 は、左記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にも承っております。

- 受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
 （但し、沖縄・奄美地区）は・・・

*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠 点 名	電話番号	郵便番号	所 在 地
北海道地区	札幌サービセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京サービセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービセンター	047-968-4766	〒270-2231	松戸市松台295-1
東海地区	横浜サービセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
	静岡サービセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
北陸地区	名古屋サービセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
	金沢サービセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪サービセンター	06-6794-3983	〒547-8510	大阪府平野区加美南3-7-19
	神戸サービセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北1-6-18
中国地区	広島サービセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美	那覇サービセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曜2-10-1

お客様相談センター

- 受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時
 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。
 （2001.10）

ACCESSORIES (page 11)


- AC Adaptor x 1
- Headphones x 1
- Remote Control Unit x 1
- Battery Charger x 1
- Battery Case x 1
- CD ROM x 1
- Carrying Case x 1
- Rechargeable Battery x 1
- Rechargeable Battery Carrying Case x 1
- USB Cable x 1

POWER SOURCE (pages 16 – 19)

■ Rechargeable battery

1. Insert the rechargeable battery.
 - (1) Open the battery compartment cover.
 - (2) Insert the ⊖ mark of the battery first.
 - (3) Close the battery compartment cover.
2. Plug the AC adaptor into an AC outlet (AC 100V) and plug the other end into the DC IN 5V jack on the battery charger.
3. Place the main unit on the battery charger with its front toward you.
 - Use only the specified rechargeable battery (AD-N55BT).

When placing the main unit on the battery charger, the charging state is displayed on the LCD.

Display	Conditions
 Scrolling	Charging.

- Battery charging will be completed in 3 hours. When it is completed, " " will go out.

■ AC adaptor

1. Use the cord for plugging to the main unit. Put the cord through the slot.
2. Plug the cord into the DC IN 2V on the main unit.
3. Plug the AC adaptor into an AC outlet (AC 100V) and plug the other end into the DC IN 5V jack on the battery charger.

IM-MT880

■ Alkaline battery power

1. Open the battery case supplied with the unit.
 2. Insert the AA size battery (LR6) into the battery case according to the direction in it and then close it.
 3. Align the protuberance on the battery case with the indentation on the side of the unit.
 4. Turn the linking screw on the battery case toward the word "LOCK", and then make sure that the battery case does not move.
- Do not insert a rechargeable battery (such as nickel-cadmium rechargeable battery) into the battery case.

INSERTING A MINIDISC (pages 20 – 21)

1. Move the **[OPEN]** knob in the direction shown by the arrow to open the disc holder.
2. Insert the arrow end of the MiniDisc first while pushing the center of the MiniDisc and close the disc holder.

GROUP RECORDING (pages 24 – 25)

Since this portable MD recorder adopts the 4 times long recording mode, you can record many tracks on one MD. (Supporting MDLP)

You can record tracks by the group of artists or albums, etc. The MD can be played back by selecting the group.

■ Switching the group mode

1. Hold down the **[REC]** button for 2 seconds or more. The recording operation will be interrupted.
2. Press the **[GROUP]** button for 1 second or more to display "GROUP".

To cancel the group mode:

Extinguish "GROUP" by holding down the **[GROUP]** button for 1 second or more.

Note

A group-recorded MD may not be operated properly when it is recorded or edited with other equipment.

RECORDING ON A MINIDISC (pages 26 – 33)

1. Plug the remote control into the unit.
2. Insert a MiniDisc.
3. Connect an external equipment to the unit.
4. Hold down the **[REC]** button for 2 seconds or more.
5. To perform group recording, hold down the **[GROUP]** button for 1 second or more. "GROUP" appears.
 - When the group recording is not performed, hold down the **[GROUP]** button for 1 second or more to extinguish "GROUP".
 - The group recording setting will be retained until the setting is changed.
6. Start playback on the external equipment.
- 7 To adjust the recording level, move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]**.
8. Pause the playback of the connected equipment.
9. Press the **[MODE]** button repeatedly to select a recording mode.

Analog recording or recording from a microphone:

 - Adjust the recording level so that the volume meter has a maximum swing between -4 and 0 dB.
 - Once the recording level is adjusted, it is retained even after recording is stopped.

Digital recording:

 - You can change the level within a range of -12 to +12 dB, at 1dB intervals.
 - When recording from CDs, adjust the level at around "DL 0". When recording from tuner, etc., adjust the level at around "DL +8".
 - Once the recording level is adjusted, it is retained even after recording is stopped.
10. Move the **[M]** button toward **[▶▶]**.
11. Start playback on the connected equipment to start recording.

■ To interrupt recording

Move the **[M]** button toward **[▶▶]** while recording.

- The track numbers increase by one.
- To resume recording, move the **[M]** button toward **[▶▶]** again.

■ To stop recording

Move the **[M]** button toward **[■]** while recording.

■ Checking the remaining recording time

While recording or the recording is paused, hold down the **[MODE/-DISP]** button for 1 second or more.

- To return to the initial display, press the **[MODE/-DISP]** button again.

■ To turn off the power

Move the **[M]** button toward **[■]** while in the stop mode.

- The unit is turned off after TOC information is recorded.

■ Long recording**2 times and 4 times long recording**

2 times or 4 times long stereo recording is possible.

Monaural recording

You can make a recording in the monaural mode for twice as long as in the stereo recording (SP).

A MiniDisc recorded in the monaural mode can be played back at double speed.

1. While recording is paused, press the **[MODE]** button repeatedly to select the recording mode.

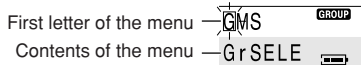
SP (Stereo recording) → LP2 (2 times long recording)

↑ MONO (Monaural recording) ← LP4 (4 times long recording)

2. Start recording.

■ Adding tracks to the previously recorded group

1. Hold down the **[REC]** button for 2 seconds or more.
2. Press the **[GROUP]** button for 1 second or more to display "GROUP".
3. Press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
4. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "G (GrSELECT)".



5. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select the group which you want to add tracks to and press it.
6. Start recording.
 - Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during the operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

■ About the TOC (Table of Contents)

- After any recording or editing function, "TOC" is displayed.
- If you move the **[M]** button toward **[■]** while in the stop mode, TOC is automatically recorded and the unit is turned off.
- While recording, "TOC" flashes on the display.
 - While the "TOC" is displayed, you cannot eject the MD. Eject it after turning off the power.

GROUP PLAYBACK (pages 34 – 35)

Playback of group-recorded MDs

Example: Group-recorded tracks



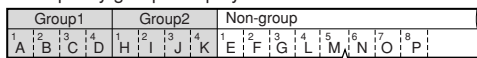
Tracks that are not group-recorded are "Non-group" ("Non-Gr" is displayed).

Playback of a group-recorded MD depends on the group mode settings shown below.

When the group mode is selected

("GROUP" lights up.)

Playback of every group starts from the first track of the group. You can specify groups for playback.

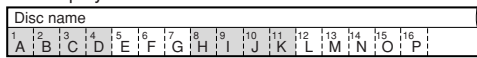


Non-group tracks are played back after all the group-recorded tracks.

When the group mode is canceled

("GROUP" goes out.)

Tracks are played back in the recorded order.



■ Switching the group mode

Inserting the group-recorded MD automatically sets the unit to the group mode. (The first group is displayed.)

- If you eject the MD, the group mode is canceled.

To cancel the group mode:

While in the stop mode, press the **[GROUP]** button for 1 second or more to extinguish "GROUP".

MINIDISC PLAYBACK (pages 36 – 39)

1. Plug in the remote control and headphones.
Insert the plug fully.
2. Insert a MiniDisc.
Inserting a group-recorded MD automatically sets the unit to the group mode.
3. Start playback by moving the **[M]** button toward **[▶||]**.
 - When you insert a playback-only MiniDisc or a MiniDisc which is protected against accidental erasure, playback will begin automatically without moving the **[M]** button toward **[▶||]**.


To adjust the volume:

Press the **[−]** or **[+]** button.

To adjust the bass:

1. Press the **[M]**.
The unit enters the menu select mode.
2. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select “B (BASS)” and press it.
3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select the bass strength and press it.

0 (OFF) ↔ 1 (BASS1) ↔ 2 (BASS2) ↔ 3 (BASS3)


 - Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during the operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

To interrupt playback:

Move the **[M]** button toward **[▶||]** during playback.

- Move the **[M]** button toward **[▶||]** again to resume playback.
- About 5 minutes after the playback is paused, the unit enters the stop mode and, 30 seconds later, the unit is turned off.

To stop playback:

Move the **[M]** button toward **[■]** during playback.
About 2 minutes after the playback is stopped, the unit is turned off automatically.

To turn off the power:

Move the **[M]** button toward **[■]**.

To search a desired group:

1. Press the **[GROUP]** button so that “GROUP” flashes.
2. Within 5 seconds, move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select the desired group.

OTHER PLAYBACK (pages 40 – 45)**■ Track search****To restart the current track:**

During playback, move the **[M]** button toward **[◀◀]** once.

To move to the beginning of the next track:

During playback, move the **[M]** button toward **[▶▶]** once.

To select a previous track number:

While in the stop mode, move the **[M]** button toward **[◀◀]** once.

To select a following track number:

While in the stop mode, move the **[M]** button toward **[▶▶]** once.

■ Cue and Review**For audible fast forward**

During playback, move the **[M]** button toward **[▶▶]** and hold.

For audible fast reverse

During playback, move the **[M]** button toward **[◀◀]** and hold.

Performing these operations while playback is paused allows you to search tracks faster than during playback.

■ Random/repeat playback

During playback, press the **[MODE]** button repeatedly to select the playback mode.

Random playback (RANDOM)

When the group mode is selected ("GROUP" lights up), tracks are played back at random within a group and playback stops automatically after all tracks are ended.

When the group mode is canceled ("GROUP" goes off), playback stops automatically, after all tracks are played back at random.

Random repeat playback (RANDOM R)

When the group mode is selected ("GROUP" lights up), tracks are played back at random within a group and groups are played in order repeatedly.

When the group mode is canceled ("GROUP" goes off), all tracks are played back at random and repeatedly.

All tracks repeat playback (R)

When the group mode is selected ("GROUP" lights up), tracks are played back by the group repeatedly.

When the group mode is canceled ("GROUP" goes off), all tracks are played back repeatedly in order.

1 group/1 track repeat playback (1R)

When the group mode is selected ("GROUP" lights up), the selected group is played back repeatedly.

When a group mode is canceled ("GROUP" goes off), the selected track is played back repeatedly.

■ Intro play

While the playback is stopped or paused, move the **[M]** button toward **[▶II]** and hold for 2 seconds or more.

To return to normal playback:

Move the **[M]** button toward **[▶II]**.

■ Audible double-speed playback

A MiniDisc recorded in the monaural mode can be played back at double speed audibly.

1. During playback, press the **[M]** button.

The unit enters the menu select mode.

2. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "F (FAST)" and press it.

3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "F (FAST)" and press it.

● Select the menu within 25 seconds.

● If you press the **[CLEAR]** button during operation, the previous display appears.

● To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

To return to normal-speed playback,:

Select "N (NORMAL)" in step 3 and press the **[M]** button.

OTHER RECORDING (pages 46 – 50)**■ Synchronous recording**

This function detects sound from the connected equipment and automatically starts or interrupts recording.

1. Hold down the [REC] button for 2 seconds or more.
2. To perform group recording, hold down the [GROUP] button for 1 second or more. "GROUP" will appear.

If you do not record tracks by the group, hold down the [GROUP] button for 1 second or more to extinguish "GROUP".

3. Start playback on the connected equipment.
4. Move the [M] button toward [◀◀] or [▶▶] to adjust the recording level.
5. Set the connected equipment to the pause mode.
6. Press the [MODE] button repeatedly to select the recording mode.
7. Press the [M] button.

The unit enters the menu select mode.

8. Move the [M] button toward [◀◀] or [▶▶] to select "S (SYNC)" and press it.
9. Press the [M] button again.
10. Start playback on the connected equipment.

Synchronous recording starts.

To interrupt playback:

When the connected equipment is stopped, the unit will be paused in the synchronous recording mode. If the connected equipment restarts playback, the unit will restart recording.

- If no sound is output from the equipment for 3 seconds or more, the recording will be paused automatically.

■ Creating track numbers automatically**[Analog recording]**

1. Press the [M] button while recording is paused or recording. The unit enters the menu select mode.
2. Move the [M] button toward [◀◀] or [▶▶] to select "M (MARK)" and press it.
3. Move the [M] button toward [◀◀] or [▶▶] to select "A(AUTO)" and press it.
 - Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the [CLEAR] button during operation, the previous display appears.
 - To stop operation, move the [M] button toward [■].

Auto mark "A(AUTO)":

1 second or more silence allows to number tracks automatically.

Mark off "O(OFF)":

Tracks are recorded as one track.

[Digital recording]

When recording from a CD or MiniDisc using the digital connection, track numbers will be created at the same points as on the CD or MiniDisc (Synchro marker function).

■ Creating track numbers manually

You can create track numbers manually during recording.

Press the [REC] button once at the point where you want to create a track number during recording.

The track numbers increase by one.

■ Note for digital recording

You cannot copy a MiniDisc that you recorded from digital inputs to another MiniDisc or DAT.

It is prevented by the SCMS (Serial Copy Management System). Recording from analog inputs is not affected.

RECORDING FROM A MICROPHONE (pages 51 – 56)

1. Insert a recordable MiniDisc.
2. Plug a microphone into the MIC IN jack on this unit.
3. Hold down the **[REC]** button for 2 seconds or more.
4. Press the **[GROUP]** button for 1 second or more to display "GROUP".

If you do not record tracks by the group, press the **[GROUP]** button for 1 second or more to extinguish "GROUP".

5. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to adjust the recording level.
6. Press the **[MODE]** button repeatedly to select the recording mode.
7. Move the **[M]** button toward **[▶II]**.

- Be sure to use a plug-in power type microphone.

A microphone which is activated by the power from the main unit is called a plug-in power type microphone.

- Connecting a microphone other than a plug-in power type may cause malfunction or damage to the unit.

■ Sound-actuated recording (Mic Synchronized recording)

In this mode, recording will be paused automatically if no sound is detected from the microphone for 3 seconds or more, and a track number is created at that point.

1. Insert a recordable MiniDisc.
2. Plug a microphone into the MIC IN jack on this unit.
3. Hold down the **[REC]** button for 2 seconds or more.
4. Press the **[GROUP]** button for 1 second or more to display "GROUP".

If you do not record tracks by the group, press the **[GROUP]** button for 1 second or more to extinguish "GROUP".

5. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to adjust the recording level.
6. Press the **[MODE]** button repeatedly to select the recording mode.
7. Press the **[M]** button.

The unit enters the menu select mode.

8. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "M (MIC SYNC LEVEL)" and press it.
9. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select the recording sensitivity and press it.
H (High): Recording will start when the unit detects -24dB or more.
L (Low): Recording will start when the unit detects -12dB or more.
10. Press the **[M]** button again.
The unit enters the menu select mode.
11. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "S (SYNC)" and press it.
12. Press the **[M]** button again.
13. When a sound is picked up by the microphone, recording will begin automatically.

■ Changing intervals between tracks (Time Auto Mark)

1. Press the **[M]** button while recording is paused or recording.
The unit enters the menu select mode.
 2. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "T (TIME MARK)" and press it.
 3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select the desired interval and press it.
0 (OFF): No track numbers are created automatically.
1 (10 min): A new track number is created every 10 minutes.
5 (5 min): A new track number is created every 5 minutes.
3 (3 min): A new track number is created every 3 minutes.
- Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during operation, the previous display appears.
 - To stop the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

EDITING MINIDISCS (pages 57 – 74)

■ Titling a recorded MiniDisc

Creating a disc name

While in the stop mode, check that "TOTAL" is displayed. If "C" is displayed, move the **[M]** button toward **[■]**.

1. While in the stop mode, press the **[M]** button.

The unit enters the menu select mode.

2. Move the **[M]** button toward **[◀▶]** or **[▶▶]** to select "N (NAME)" and press it.
3. Move the **[M]** button toward **[◀▶]** or **[▶▶]** to select "D (DISC)" and press it.

You can enter characters now.

4. Move the **[M]** button toward **[▶▶]** to select the type of characters.
 Katakana → Alphabetic characters (capital letters)

↑
 Numbers and symbols ← Alphabetic characters (small letters)
 ↓

5. Move the **[M]** button toward **[◀▶]** or **[▶▶]** to select the character you want to enter.
6. When the character appears, press the **[M]** button
7. Enter the rest of the characters to complete the disc name.
Repeat steps 4 - 6 to enter other characters.
8. After entering all characters, hold down the **[M]** button for 1 second or more.

The disc name has been created.

Creating a group name

Set the unit to the group mode.

1. When in the stop mode, press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
2. Move the **[M]** button toward **[◀▶]** or **[▶▶]** to select "N (NAME)" and press it.
3. Move the **[M]** button toward **[◀▶]** or **[▶▶]** to select "G (GROUP)" and press it.

4. Move the **[M]** button toward **[◀▶]** or **[▶▶]** to select the group you want to name and then press it.

You can enter characters now.

5. Enter the characters.

The group name has been created.

Creating a track name

1. While the track to be named is paused, press the **[M]** button.

The unit enters the menu select mode.

2. Move the **[M]** button toward **[◀▶]** or **[▶▶]** to select "N (NAME)" and press it.
3. Press the **[M]** button again.
You can enter characters now.
4. Enter the characters.

The track name has been created.

- Select the menu within 25 seconds.

- If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.

(If you press this button while entering characters, the screen you see before entering characters is displayed.)

- To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

(If you are entering characters, press the **[CLEAR]** button and move the **[M]** button toward **[■]** to cancel it.)

To add a character:

1. Set the unit to the character input mode.
2. Press the **[−]** or **[+]** to select the character on the right of the position where you want to add a character.
3. Select the character you want to add.
4. Press the **[M]** button.
5. Press the **[M]** button again and hold for 1 second or more.

To erase a character:

1. Set the unit to the character input mode.
2. Press the **[−]** or **[+]** to select the character you want to erase.
3. Press the **[REC]** button.
4. Hold down the **[M]** button for 1 second or more.

To change a character:

Erase the character you want to change, and then add a new one.

■ Stamping titles from another MiniDisc**Before stamping**

When there are 2 MiniDiscs on which the same tracks are recorded, you can transfer the character information (disc name, group name, and track name) of the master MiniDisc to another MiniDisc (for stamping) all at the same time.

1. What is a master MiniDisc?

A recordable MiniDisc that contains tracks and character information.

2. What is a MiniDisc for stamping?

A MiniDisc that contains the same tracks in the same order as the master MiniDisc (tracks only).

Stamping character information**1. Insert a master MiniDisc.**

Do not mistake the master MiniDisc for the target one.

2. While in the stop mode, press the [M] button.

The unit enters the menu select mode.

3. Move the [M] button toward [◀] or [▶] to select "E (EDIT)" and press it.**4. Move the [M] button toward [◀] or [▶] to select "N (NAME STAMP)" and press it.****5. After "READ OK" is displayed, press the [M] button.****6. Make sure that "CHANGE MD" is displayed and remove the master MiniDisc from the unit.**

Remove it without turning the power off. Or the operation will be canceled.

7. Make sure that "INSERT MD" is displayed and insert the MiniDisc for stamping.**8. Press the [M] button.**

- Select the menu within 25 seconds.

- If you press the [CLEAR] button during this operation, the previous display appears.

- To cancel the operation, move the [M] button toward [■].

■ Erasing one track at a time (TRACK ERASE)

You can erase one track at a time.

1. During playback of the track to be erased, move the [M] button toward [▶] to pause it.

You can select the track by moving the [M] button toward [◀] or [▶] in the stop mode.

2. Press the [M] button.

The unit enters the menu select mode.

3. Move the [M] button toward [◀] or [▶] to select "E (EDIT)" and press it.**4. Move the [M] button toward [◀] or [▶] to select "E (ERASE)" and press it.****5. Press the [M] button again.**

- Select the menu within 25 seconds.

- If you press the [CLEAR] button during this operation, the previous display appears.

- To cancel the operation, move the [M] button toward [■].

■ Erasing all the tracks at once (ALL ERASE)

You can erase all tracks at once.

1. Press the [M] button while in the stop mode.

The unit enters the menu select mode.

2. Move the [M] button toward [◀] or [▶] to select "E (EDIT)" and press it.**3. Move the [M] button toward [◀] or [▶] to select "A (ALL ERASE)" and press it.****4. Press the [M] button again.**

- Select the menu within 25 seconds.

- If you press the [CLEAR] button during this operation, the previous display appears.

- To cancel the operation, move the [M] button toward [■].

■ Dividing a track (DIVIDE)

You can divide a track into 2 tracks.

1. Play back the track to be divided, and move the **[M]** button toward **[▶II]** at the point where you want to divide. Playback will be paused.
2. Press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "E (EDIT)" and press it.
4. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "D (DIVIDE)" and press it.
5. Press the **[M]** button again.
 - Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

■ Combining tracks (COMBINE)

Two adjacent tracks can be combined.

1. Play back the second of the two tracks to be combined and move the **[M]** button toward **[▶II]** to pause it.
You can also select the track by moving the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** in the stop mode.
2. Press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "E (EDIT)" and press it.
4. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "C (COMBINE)" and press it.
5. Press the **[M]** button again.
 - Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

■ Moving a track (MOVE)

You can move a track to the desired position.

1. Play back the track to be moved, and move the **[M]** button toward **[▶II]** to pause it.
You can select the track by moving the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** in the stop mode.
2. Press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "E (EDIT)" and press it.
4. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "M (MOVE)" and press it.
5. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to locate the position it is moved to.
6. Press the **[M]** button.
 - Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

■ Moving a track to another group (GROUP CHANGE)

You can move a track to a different group.

1. While the track to be moved is being played, move the **[M]** button toward **[▶II]** to pause it.
You can also select the track by moving the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** in the stop mode.
2. Press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "G (GROUP)" and press it.
4. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "C (GrCHANGE)" and press it.
5. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select the group the track is moved to.
6. Press the **[M]** button.

- Select the menu within 25 seconds.
- If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
- To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

■ Moving a group to the top (GROUP TOP MOVE)

The recorded group can be moved to the beginning of the MiniDisc.

1. When in the stop mode, select the group you want to move.
 2. Press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
 3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "G (GROUP)" and press it.
 4. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "T (GrTOPMOVE)" and press it.
 5. Press the **[M]** button again.
- Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

■ Erasing a group (GROUP ERASE)

You can erase all tracks in a group at once.

1. When in the stop mode, select the group you want to erase.
 2. Press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
 3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "G (GROUP)" and press it.
 4. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "E (Gr&TrERASE)" and press it.
 5. Press the **[M]** button again.
- Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

■ Creating a group before recording (GROUP RESERVE)

You can create a group in advance and record tracks into it.

1. When in the stop mode, press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
2. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "G (GROUP)" and press it.
3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "R (GrRESERVE)" and press it.
You can enter characters now.
4. Enter the group name.

Otherwise you will not be able to create a group.

5. Hold down the **[M]** button for 1 second or more.
- Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

■ Positioning non-group tracks after group-recorded tracks (GROUP ARRANGE)

If non-group tracks are located in the middle of tracks that were group-recorded with other equipment, you can move them to the end of the disc.

1. When in the stop mode, press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
 2. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "G (GROUP)" and press it.
 3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "A (GrARRANGE)" and press it.
 4. Press the **[M]** button again.
- Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

■ Erasing group information (GROUP CANCEL)

You can erase the entire group information.

After the group information has been erased, the MiniDisc will change to a non-group MiniDisc.

1. When in the stop mode, press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
2. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "G (GROUP)" and press it.
3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select "C (GrCANCEL)" and press it.
4. Press the **[M]** button again.
 - Select the menu within 25 seconds.
 - If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
 - To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

USEFUL FEATURES (pages 75 – 79)

■ Hold function

The present operation can be kept even if buttons are accidentally pressed in a place such as a crowded train. (The main unit and the remote control function respectively.)

Main unit

Hold down the **[HOLD]** button for 2 seconds or more and check that "on" is displayed.

To cancel the hold function:

Hold down the **[HOLD]** button for 2 seconds or more while the hold function is activated.

Remote control

To put the unit in the malfunction prevention state, move the **[HOLD]** switch.

To cancel the hold function:

Slide the **[HOLD]** switch back to its original position.

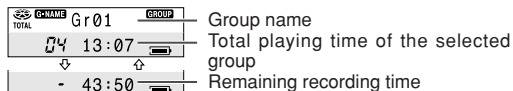
■ Checking the remaining recording time and total playing time

Hold down the **[MODE/-DISP]** button for 1 second or more in the stop mode.

When "GROUP" is out:



When "GROUP" is lit:



■ Checking the playing time of each track

1. When stopped, move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select a track number or name.

The number and name of the selected track will be displayed.

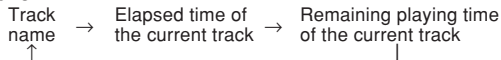
2. Hold down the **[MODE/-DISP]** button for 1 second or more.

The playing time of the selected track will be displayed.

- After displaying the playing time in step 2, just select the track number to display its playing time.

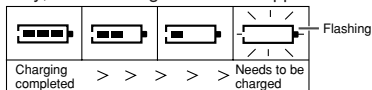
■ Checking the elapsed time and remaining time

Each time the **[MODE/-DISP]** button is pressed for 1 second or more in the playback or pause mode, the display will change as follows:



■ Checking the remaining amount of battery

While the unit is being operated with the rechargeable battery or alkaline battery, its remaining amount will appear on the display.



■ Changing default settings

1. Insert a MiniDisc.
2. While in the stop mode, press the **[M]** button.
The unit enters the menu select mode.
3. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select “S (SETUP)” and press it.
4. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select a menu and press it.
5. Move the **[M]** button toward **[◀◀]** or **[▶▶]** to select an item and press it.

Menu	Item	
B(BEEP) Key-touch sound	Y(YES) Beep on	N(NO) Beep off
A(AUTO PLAY) Auto play	Y(YES) Set	N(NO) Canceled
P(PowerSave) Auto power save	Y(YES) Set	N(NO) Canceled
D(D-LEVEL) Digital recording level	1(D.L 1) Setting retained	2(D.L 2) Canceled
L(LIGHT) ● 7-color LED ● Backlight on the remote control	N(NORM) A(ALL) See below	O(OFF)

“NORM”

7-color LED
Backlight on the remote control

“ALL”

7-color LED
Backlight on the remote control

“OFF”

7-color LED
Backlight on the remote control

Indication lamp is flashing.
Lit for approx. 10 seconds when operated.

Indication lamp is lit.
Lit for approx. 10 seconds when operated.
(Lit when operated with AC power.)

Indication lamp is not lit.
Indication lamp is not lit.

- Select the menu within 25 seconds.
- If you press the **[CLEAR]** button during this operation, the previous display appears.
- To cancel the operation, move the **[M]** button toward **[■]**.

【お問い合わせは】

- 「OpenMG Jukebox Version 2.2 for SHARP」についてのお問い合わせは、ユーザーサポートセンターへご連絡ください。

ユーザーサポートセンター

電話番号 (03) 5396-1236

受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00
月曜日～金曜日（祝日およびシャープ所定の休日を除く）

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- ・ 形名：IM-MT880
- ・ ご相談内容：できるだけ詳しく
- ・ お買いあげ年月日：
- ・ ご使用のパソコン環境
 - －パソコンの形名、OS
 - －メモリー容量
 - －ハードディスクなどの容量

- MDポータブルレコーダー本体（ソフトウェアは除く）のご意見・質問は、シャープお客様ご相談窓口へお申し付けください。

お客様ご相談窓口

94ページに記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をごらんください。

- インターネットによる接続環境をお持ちのお客様は、ユーザーサポートページ（<http://www.sharp.co.jp/support/immt880/user/index.html>）でサポート情報などをお知らせいたしますのでご参照ください。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話 (06) 6621-1221 (大代表)

AVシステム事業本部 〒739-0192 東広島市八本松飯田2丁目13番1号
電話 (0824) 28-2401 (大代表)

TINSJ0125AWZZ

Printed in Malaysia

A0111.YT